㊙

平成 30 年度 事業分析表
（平成 29 年度事業実施分）

【足立区子ども・子育て支援事業計画】

足立区

はじめに

平成２７年４月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に合わせ、足立区においても平成２７年３月に「足立区子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

平成２７年３月に定めた当初計画では、必須記載事項である「保育施設等の量の見込みと確保方策」を定めるに留まっていたため、平成２９年２月に当該計画を改訂し、平成３１年度までに足立区が取り組むべき施策を明らかにするとともに、進捗を管理するための指標を設定しました。

改訂時に定めた当該施策について、今後、平成３１年度まで進捗を管理していくことになりますが、今年度は平成２９年度の実績を、以下のとおり評価いたしました。

【評価の流れ】

１次評価（自己評価）

①各事業の担当課にて、事業分析表をもとに当該事業の進捗状況などの分析を実施。

②各事業ごとの指標については、平成３１年度の目標値達成に向けての進捗度を、以下の５段階で評価。

⇒ ５：80%以上　４：60～80%未満　３：40～60%未満　２：20～40%未満　１：20%未満

２次評価（内部評価）

①未来へつなぐあだちプロジェクト（足立区子ども貧困対策実施計画）の庁内ヒアリング（２次評価）に同席するなど、関連する事業についての情報を共有化。

②各事業担当課による１次評価（自己評価）と上記①で共有化した情報などを踏まえ、子ども政策課にて各事業の方向性等を以下の５段階で総合的に評価。

⇒ 総合評価（５点満点）★★★★★（良い）←→ ★☆☆☆☆（悪い）

３次評価（外部評価）

①１次、２次評価の内容について、足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会を含む）にて委員から意見を聴取。

●事業分析表の見方

【進捗度の評価方法（H29 実績）】

①中間年（H28～H30）は、仮で目標値を設定

⇒この例では、毎年 4.6%ずつ上昇すれば、H31 の目標値である 45%に到達できるので、H28 の目標値は 31.2%と仮定。

②仮に設定した目標値（31.2%）に対するH29 実績（29.5%）の到達度に応じて、進捗度を１から５※で評価。

※5（80%以上）4（60～80%未満）3（40～60%未満）2（20～40%未満）1（20%未満）

平成２９年度 事業分析表（平成２８年度事業実施分）　**見本**

作成担当課　保健予防課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－１	子どもの心身の健全な発達の支援
事業名	１－１－②	保健所での健康教育・食育の推進
事業内容	乳幼児健診や育児学級、健やか親子相談事業など、様々な機会をとらえて健康教室を実施し、糖尿病予防と糖尿病の重症化を未然に防ぐため、早期から１日３食、野菜を食べるなど望ましい食習慣を身につけることを保護者へ啓発していきます。	

事業費等	投入資源（千円）	H28実績	H29	H30	H31
	総事業費	79,731	42,737	0	0
	総事業費内訳 事業費	37,419	42,737		
	人件費	42,312	0	0	0
	常勤 平均給与	8,641			
	常勤 人数	4.28			
	常勤 計	36,983	0	0	0
	非常勤 平均給与	3,576			
	非常勤 人数	1.49			
	非常勤 計	5,328	0	0	0
	財源内訳 国庫支出金	42			
	都支出金	42			
	その他（　）	0			
	一般財源	79,647			

■指標

指標名	指標の定義	基準値 H27	実績値 H28	H29	H30	H31	目標値 H31	進捗度
乳児（3～4か月児）健康診査、育児学級及び健やか親子相談事業における健康教室の参加率	（算出式）A/B A：各健康教室への参加人数 B：0歳児人口×3※ ※乳幼児健診、育児学級、健やか親子相談事業の3つの事業での参加率であるため、3倍にしています。	89.9%	91.3% 【目標値】91.2%				95%	5
1日3食、野菜（おかず・汁物など）を食べる幼児の割合	3歳児健康診査アンケートによる集計値 （算出式）A/B A：1日3食、野菜（おかず・汁物など）を食べると回答した件数 B：アンケートの回収件数	26.6%	29.5% 【目標値】31.2%				45%	4

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
5：80%以上、4：60～80%未満、3：40～60%未満、2：20～40%未満、1：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析（施策に対する有効性の評価）	健康教室の参加率は、平成２７年度より増加している。健康教室は、望ましい生活習慣に関する知識を提供する大切な機会であるため、今後も参加率の向上を図っていく。１日３食野菜を食べる幼児の割合は、平成２７年度より増加している。望ましい生活習慣は子どもの心身の健全な発達につながるため、今後も１日３食野菜を食べることの大切さを分かりやすく伝えていく。
事業の進捗状況（現状分析）	健康教室の参加率及び１日３食野菜を食べる幼児の割合ともに指標は伸びている。健康教室の参加率が１日３食野菜を食べる幼児の割合に連動していると思われるため、健康教室の参加率の向上を重点的に図っていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	保護者への啓発のためには、健康教室等の場を活用することは効果的である。２つの指標ともに伸びており、健康教室のほか様々な機会を捉えて啓発活動を継続していくことで、望ましい食習慣を定着させ、ひいては、子どもたちの健やかに成長につなげていただきたい。

１次評価（自己評価）

２次評価（内部評価）

３次評価（外部評価）：事業分析表全体について外部委員から意見を聴取

●各事業別の総合評価一覧（兼 目次）

各事業別の総合評価及び該当頁は、以下のとおり。

【施策群１　家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む】

施策	事業名	総合評価 (5 点満点)	該当頁
１－１ 子どもの心身の健全な発達の支援	①食育の推進事業	★★★★☆	Ｐ１
	②保健所での健康教育・食育の推進	★★☆☆☆	Ｐ２
	③早寝・早起き・朝ごはんの推進	★★★★☆	Ｐ３
	④あだちっ子歯科健診	★★★★☆	Ｐ４
	⑤図書館での読み語り	★★★☆☆	Ｐ５
	⑥あだちはじめてえほん	★★★☆☆	Ｐ６
１－２ 就学前からの学びの基礎づくり	①保育者の資質能力向上	★★★☆☆	Ｐ７
	②幼保小連携活動	★★★☆☆	Ｐ８
	③子ども同士の交流活動	★★★★★	Ｐ９
１－３ 発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実	①発達支援児の早期発見・早期支援の取り組み	★★★☆☆	Ｐ10
	②乳幼児経過観察健康診査・乳幼児療育指導	★★★☆☆	Ｐ11
	③発達支援児の総合的な支援	★★★☆☆	Ｐ12
	④発達支援委員会の開催・園巡回指導	★★★☆☆	Ｐ13
	⑤従事職員のスキルアップ研修	★★★☆☆	Ｐ14
１－４ 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援	①ギャラクシティでの多様な体験活動の提供	★★★★☆	Ｐ15
	②あだち放課後子ども教室	★★★★★	Ｐ16
	③ジュニアリーダーの育成	★★★★★	Ｐ17

【施策群２　妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える】

施策	事業名	総合評価 (5 点満点)	該当頁
２－１ 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える	①妊婦健康診査	★★★☆☆	Ｐ18
	②妊産婦家庭訪問事業	★★★★☆	Ｐ19
	③子育てホームヘルプサービス事業	★★★☆☆	Ｐ20
	④ファミリー学級	★★★☆☆	Ｐ21
	⑤こんにちは赤ちゃん訪問事業	★★★★☆	Ｐ22
	⑥乳幼児健康診査	★★★☆☆	Ｐ23

	⑦子育て健康広場	★★★☆☆	P 24
	⑧子育てサロン	★★★★☆	P 25
２－２ 子育てと仕事の両立支援	①保育施設等の整備	★★★★☆	P 26
	②保育士確保・定着対策	★★★★☆	P 27
	③認証保育所の認可化移行支援	★★★★☆	P 28
	④保育コンシェルジュ	★★★★★	P 29
	⑤保育施設等への指導検査の実施	★★★☆☆	P 30
	⑥学童保育室の運営	★★★☆☆	P 31
	⑦ワーク・ライフ・バランス推進のための専門家派遣事業	★★☆☆☆	P 32
	⑧ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度	★★★☆☆	P 33
	⑨男性セミナーの実施	★★★☆☆	P 34
２－３ 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止	①きかせて子育て訪問事業	★★★☆☆	P 35
	②メール配信事業「新米ママパパの子育てブログ」	★★★★☆	P 36
	③児童虐待対応	★★★★☆	P 37
	④児童虐待防止講座の実施	★★★☆☆	P 38
	⑤児童扶養手当	★★★★☆	P 39
	⑥児童育成手当	★★★★☆	P 40
	⑦ひとり親家庭等医療費助成	★★★★☆	P 41
	⑧ひとり親家庭応援メールの配信	★★★★☆	P 42
	⑨就労のための資格取得支援	★★★★★	P 43
２－４ 安心して子育てのできる生活環境の整備	①ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の推進	★★★★☆	P 44
	②赤ちゃん休憩室	★★★☆☆	P 45
	③公園等遊具の安全対策	★★★☆☆	P 46
	④パークイノベーションの取り組みの推進	★★★★☆	P 47

●各事業別の総合評価の集計表

下記の表は、前述の各事業別の総合評価を施策ごとに集計したものです。

施策群１、２ともに、若干、総合評価が２となった事業があります（全４７事業中２事業）が、ほとんどの事業が３以上の評価となりました。

今年度は全ての事業の評価を行いました（3 事業が昨年度未評価）。計画の最終年である平成３１年度までには施策群ごとの評価も実施し、本計画で定めた施策が総合的かつ実効性をもって推進されたか否かを評価してまいります。

	施策	事業数	総合評価（５点満点）					
			良い 5	4	3	2	悪い 1	評価なし
施策群１	１-１ 子どもの心身の健全な発達の支援	6	0 (0%)	3 (50%)	2 (33%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)
	１-２ 就学前からの学びの基礎づくり	3	1 (33%)	0 (0%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	１-３ 発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実	5	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	１-４ 子ども･若者が社会と関わる力を育むための成長支援	3	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	小計	１７	3 (18%)	4 (24%)	9 (53%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)
施策群２	２-１ 妊娠から出産･子育てまで切れ目なく支える	8	0 (0%)	3 (38%)	5 (63%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	２-２ 子育てと仕事の両立支援	9	1 (11%)	3 (33%)	4 (44%)	1 (11%)	0 (0%)	0 (0%)
	２-３ 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止	9	1 (11%)	6 (67%)	2 (22%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	２-４ 安心して子育てのできる生活環境の整備	4	0 (0%)	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	小計	３０	2 (7%)	１４ (47%)	１３ (43%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)
合計		４７	5 (11%)	１８ (38%)	２２ (47%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (6%)

※小数点以下を四捨五入しているため、100%とならない施策がある

施策１－１

子どもの心身の健全な発達の支援

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども施設指導・支援担当課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－１	子どもの心身の健全な発達の支援
事業名	１－１－①	食育の推進事業
事業内容	「あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～」をキャッチフレーズに、野菜摂取の大切さを伝えるために、保育園等でのおいしい給食「野菜の日」などを通じて、正しい食習慣づくりを推進します。望ましい食習慣や生活習慣を身につけ、子どもの健康格差の縮小に取り組みます。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			14,597	14,315	732	0
	総事業費内訳	事業費		144	520	732	
		人件費		14,453	13,795	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.1	0.1		
			計	864	878	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	3.8	3.6		
			計	13,589	12,917	0	0
	財源内訳	国庫支出金					
		都支出金					
		その他〔　　〕					
		一般財源		14,597	14,315		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
「ひと口目は野菜から(ベジファースト)」事業の保育施設での実施割合	(対象) 区立保育園・こども園、私立保育園(公設民営園含む)、認証保育所の4～5歳児 ※私立幼稚園はH30年度から実施予定 (算出式) A/B A：実施園数 B：対象施設の総数	①区立園 100% ②私立園 30% ③認証 ー	①100% ②30% 【目標値】47.5% ③ ー	①100% ②53% 【目標値】65% ③ ー			区立園 100% 私立園 100% 認証 100%	区立園 5 私立園 4 認証 ー
「野菜栽培と収穫野菜の調理体験」事業の保育施設での実施割合	(対象) 区立保育園・こども園、私立保育園、認証保育所の4～5歳児 (算出式) A/B A：実施園数 B：対象施設の総数	①区立園 100% ②私立園 ー ③認証 ー	(小松菜栽培) ①100% ②56% ③ ー (調理体験) ①100% ②84% ③ ー	(小松菜栽培) ①100% ②72% 【70.7%】 ③100% (調理体験) ①100% ②83% 【89.3%】 ③ ー	【 】は目標値		区立園 100% 私立園 100% 認証 100%	区立園 5 私立園 3 認証 3

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	上記のとおり私立園の「ひと口目は野菜から」の実施率は30%から53%と上昇はしているがまだ低い。私立園長会や私立園栄養士が集まる会での周知・説明を行ったが、事業の意義、必要性の伝え方が十分でなかったと考えられる。
事業の進捗状況 (現状分析)	29年度末から30年度にかけて、園長会での事業の意義・必要性の周知及びメールによる献立・レシピ等の送付を行った。また、「野菜栽培と収穫野菜の調理」の取組が4.5歳児在園全園で実施できるよう、事業の強化を図った。29年度は認証保育所10園にも小松菜の種・土を配布し、栽培及び収穫が行われた。30年度は調理まで実施されるよう働きかけを強化する。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	望ましい食習慣や生活習慣のために、乳幼児期は非常に重要な時期である。私立園の実施率にまだ伸びしろはあるとはいえ、大きく増加した実績は評価できる。今後も各園への呼びかけを続けてほしい。野菜を育て、収穫し、食する一連の流れの中で、食への興味や命の大切さを伝える取り組みを認証保育園や幼稚園にも広げてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　保健予防課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－１	子どもの心身の健全な発達の支援
事業名	１－１－②	保健所での健康教育・食育の推進
事業内容	乳幼児健診や育児学級、健やか親子相談事業など、様々な機会をとらえて健康教室を実施し、糖尿病予防と糖尿病の重症化を未然に防ぐため、早期から１日３食、野菜を食べるなど望ましい食習慣を身につけることを保護者へ啓発していきます。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			79,731	78,581	41,773	0
	総事業費内訳	事業費		37,419	39,724	41,773	
		人件費		42,312	38,857	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	4.28	3.80		
			計	36,983	33,368	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	1.49	1.53		
			計	5,328	5,490	0	0
	財源内訳	国庫支出金		42	42		
		都支出金		42	42		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		79,647	78,497		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
乳児（3～4か月児）健康診査、育児学級及び健やか親子相談事業における健康教室の参加率	(算出式) A/B A：各健康教室への参加人数 B：０歳児人口×３※ ※乳幼児健診、育児学級、健やか親子相談事業の3つの事業での参加率であるため、3倍にしています。	89.9%	91.3% 【目標値】91.2%	87.2% 【目標値】92.4%			95%	1
１日３食、野菜（おかず・汁物など）を食べる幼児の割合	３歳児健康診査アンケートによる集計値 (算出式) A/B A：１日３食、野菜（おかず・汁物など）を食べると回答した件数 B：アンケートの回収件数	26.6%	29.5% 【目標値】31.2%	30.1% 【目標値】35.8%			45%	2

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	健康教室の参加率は、会場の都合による開催回数の減により平成２８年度より微減した。健康教室は、望ましい生活習慣に関する知識を提供する大切な機会であるため、参加率向上のため周知等に力を入れていく。一方、１日３食野菜を食べる幼児の割合は、平成２８年度より微増している。望ましい生活習慣は子どもの心身の健全な発達につながるため、今後も１日３食野菜を食べることの大切さを分かりやすく伝えていく。
事業の進捗状況 (現状分析)	１日３食野菜を食べることの重要性は徐々に定着してきているものと考えられる。健康教室を啓発機会と捉え、保健師等の家庭訪問時に周知を行うなど、健康教室の参加率の向上を重点的に図っていく必要がある。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★☆☆☆	健康教室への参加率は元々高いため、さらに向上させるのは困難であろう。周知・広報の工夫を続けるとともに、口コミなど他の方法も組み合わせて目標の達成を目指してほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　青少年課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－１	子どもの心身の健全な発達の支援
事業名	１－１－③	早寝・早起き・朝ごはんの推進
事業内容	早寝・早起き・朝ごはんが身につくよう、啓発を行います。 保育園等での早寝・早起き・朝ごはんカレンダーによる取り組み、パンフレットやポスターなどによる啓発活動を行っています。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			7,022	3,940	2,344	0
	総事業費内訳	事業費		2,344	2,344	2,344	
		人件費		4,678	1,596	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.5	0.1		
			計	4,321	878	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.1	0.2		
			計	358	718	0	0
	財源内訳	国庫支出金					
		都支出金					
		その他〔　　〕					
		一般財源		7,022	3,940		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数の割合	(対象) 区立保育園・こども園、私立保育園、認証保育所、私立幼稚園・こども園の４、５歳児 (算出式) A/B Ａ：取り組み園数 Ｂ：（区立保育園・こども園＋私立保育園＋認証保育所※＋私立幼稚園・こども園）の総数 ※４、５歳児の在籍園に限る	81.7%	80.8% 【目標値】84.7%	86.7% 【目標値】87.7%			93.7%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	保育園、幼稚園等に依頼し、４・５歳児に対してカレンダーを配布している。29年度は156園が取り組んだ。公立園の保護者にアンケートを実施した結果、配布した家庭の69%が活用し、82%が役立っているとの回答を得た。今後は、目標達成に向けて、各園で取り組みやすいよう内容の見直しを検討していく。
事業の進捗状況 (現状分析)	29年度は、実績値、達成率ともに向上した。しかしながら、配布の内訳を見ると、私立保育園は94%と前年度の81%から向上しているが、私立幼稚園が逆に28年度の84%から71%に低下している。そのため、取り組みが行われていない園に対しては、サンプルを送るなどして、働きかけを行っている。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	昨年とデザインなどを変えて、使う人を飽きさせない工夫が高く評価できる。私立幼稚園での取り組みが減っている理由は何か、より活用してもらう方策等、分析と対応を進めてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども政策課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－１	子どもの心身の健全な発達の支援
事業名	１－１－④	あだちっ子歯科健診
事業内容	むし歯が増えやすい４歳（年少児）から６歳（年長児）を対象に、①区統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③結果集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施。未就学児のむし歯予防および早期の治療、ひいては子どもの貧困対策にも繋がるよう取り組みを進めています。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			25,205	26,926	15,334	0
	総事業費内訳	事業費		15,527	17,091	15,334	
		人件費		9,678	9,835	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	1.12	1.12		
			計	9,678	9,835	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数				
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金					
		都支出金					
		その他〔　　〕					
		一般財源		25,205	26,926		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
教育・保育施設における歯科健診の受診率	(算出式) A/B A：教育・保育施設における受診者数 B：教育・保育施設の在籍者数	98.8%	99% 【目標値】99.1%	99.1% 【目標値】99.4%			100%	3
未通園児の歯科健診の受診率	(算出式) A/B A：未通園児の受診者数 B：未通園児の数	8.6%	9.4% 【目標値】9.6%	13.5% 【目標値】10.6%			12.6%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	3歳児クラス(「年少児」に相当)以上を対象に区内全ての保育園、幼稚園、認定こども園、認証保育所に「あだちっ子歯科健診」参加を呼び掛け、181施設(100%)で実施した。また、未通園児（区内の保育園、幼稚園等に通っていない)の家庭には個別に受診案内を郵送し周知した。未通園児等(＋区外通園児)の受診者数は162人(受診率12.1%)、施設内における歯科健診の受診者数は15,714人(受診率99.1%)であり、合計で15,876人(受診率92.3%)となり、昨年度(受診率91.3%)より増加した。また、全ての年齢で虫歯がある子の率が下がった。
事業の進捗状況 (現状分析)	本格実施から3年目となり、教育・保育施設での歯科健診実施率が100%になった。未通園児等の受診率も増加しているため、今後もハガキやSNS、関係機関からの働きかけにより、定期的な対策を引き続き行い、参加率・受診率がさらに向上するよう取り組んでいく。歯科健診後に治療が必要な子どもの受診報告書の提出率も前年度より5.5ポイント(28年55.8%→29年度61.3%)増加している。検査結果によりフォローが必要な子どもや家庭には、庁内各所管や関係機関が連携して対応する仕組みを検討し、試行していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	教育・保育施設における受診率について、引き続き100%を目指して努力してほしい。また、受診後に虫歯があると診断された子の保護者に対し、治療や予防に取り組むようアプローチしてほしい。未通園児については、健康面の理由だけでなく虐待の早期発見にもつながるため、フォローする仕組みの検討を続けてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　中央図書館

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－１	子どもの心身の健全な発達の支援
事業名	１－１－⑤	図書館での読み語り
事業内容	絵本は、子どもの豊かな感性や人間性を育むばかりでなく、学ぶ意欲や集中力、知的好奇心などの基礎的な力を培うといわれています。また、「読み語り」による子どもとのコミュニケーションは、愛されているという安心感と信頼関係を築き、親子の絆を深める第一歩です。区立図書館（中央図書館と地域館14館）では、絵本や物語の楽しさを味わい親しんでもらえるように、乳幼児から小学生を対象とした「おはなし会」を開催しています。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			15,960	15,948	3,808	0
	総事業費内訳	事業費		3,743	3,731	3,808	
		人件費		12,217	12,217	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,641		
			人数	1	1		
			計	8,641	8,641	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,576		
			人数	1	1		
			計	3,576	3,576	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		15,960	15,948		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
おはなし会(学校に出張して実施するおはなし会などを含む)の１回あたりの平均参加者数	(算出式) A/B A：おはなし会(学校に出張して実施するおはなし会などを含む)の参加者数 B：おはなし会(学校に出張して実施するおはなし会などを含む)の実施回数	28.5人	28.9人 【目標値】28.9人	26.8人 【目標値】29.2人			30人	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	主目的が映画上映であることから、前回より各館の映画会での絵本のお話の回数を除外して、乳幼児から小学生対象の読み語り（おはなし会）と学校に出張するおはなし会の実績としている。数値減少の原因は、３館（東和・興本・宮城）の改修休館と考えられる。乳幼児期における絵本の読み語りは子どもの読書習慣の定着には有効であり、中央図書館を始め、各地域図書館で実施して行く。
事業の進捗状況 (現状分析)	図書館を中心とした読み語り（おはなし会）は継続実施していく。一方で、図書館に来ない・来られない人をターゲットに広報戦略を図り、読み語りについても、他所管と連携し、様々な機会を捉えておはなし会を実施普及していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	平均参加者数の減少は致し方ないものと考える。絵本を読むという特性上、１度に多くの参加者を相手にするものではなく、また図書館で実施する読み語りの場合、会場定員の都合で平均参加者数が増えにくいと推測されるので、今後は違う指標も検討してほしい。広報戦略や連携に期待するとともに、子ども達の読書習慣が広まるよう今後も継続していただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　中央図書館

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－１	子どもの心身の健全な発達の支援
事業名	１－１－⑥	あだちはじめてえほん
事業内容	将来的に子どもの社会性と学力向上に貢献していくため、乳幼児健診の際に絵本を配付し、読み語りを実演するなど、親子がふれあうことの大切さと絵本を読む楽しさを伝えるとともに、読み語り活動の普及を図っています。 3～4か月児健診時は、絵本を配付するとともに、読み語りボランティアが絵本の読み語りを実演し、幼児期に絵本に親しむ機会の充実を図っています。 また、１歳６か月児健診時は、区内図書館と子育てサロンを絵本の引き換え場所とすることで、本に触れ合える環境が身近にあることをお知らせしています。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			66,183	54,514	7,445	0
	総事業費内訳	事業費		7,331	7,445	7,445	
		人件費		58,852	47,069	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	3.5	2.5		
			計	30,244	21,953	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	8	7		
			計	28,608	25,116	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		66,183	54,514		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
３～４か月児健診時の絵本配付冊数	３～４か月児健診時に絵本を配付した冊数(配付率※) ※3～4か月児健診の受診者に対して絵本を配付した割合	5,773冊（99%）	5,215冊（99%） 【目標値】配付率99.25%	5,104冊（99%） 【目標値】配付率99.5%			5,600冊(100%)	1
1歳６か月児健診時の絵本引き換え冊数	１歳６か月児健診受診者が絵本を引き換えた冊数(引き換え率※) ※1歳6か月児健診の受診者が、別途区内図書館などの引き換え場所で絵本を引き換えた割合	3,127冊（57%）	3,760冊（66%） 【目標値】引き換え率64%	3,448冊（63%） 【目標値】引き換え率71%			4,400冊（85%）	3

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	アンケート結果からほぼ毎日もしくは週に数日本を読む保護者の割合は28年度の３～４か月検診の保護者より、２９年度１歳６か月児健診健診の保護者の方が微減となっている。しかしながら１歳６か月児健診で渡した絵本は約４割の保護者に50回以上読まれており、読書の習慣化に一定程度活用されている。
事業の進捗状況 (現状分析)	3～4か月・1歳6か月のアンケート結果で比較した保護者の図書館利用率は上がっており、絵本を渡す際の図書館ＰＲと各地域図書館の「あかちゃんタイム」の浸透と考えられる。今後も様々な場で図書館ＰＲに努め、子どもの読書習慣の定着化に繋げていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	1歳６か月児健診時に引換券を渡す方法は、３～４か月児健診時に直接配付するよりハードルが高いが、アンケートから一定の成果があることがうかがえる。今後は図書館へ行ってみたい、足を運んでみたいと思えるきっかけづくりを工夫していただきたい。

施策１－２

就学前からの学びの基礎づくり

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　就学前教育推進課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－２	就学前からの学びの基礎づくり
事業名	１－２－①	保育者の資質能力向上
事業内容	保育者の資質能力向上を図るため、幼児教育関係者が学ぶ機会を提供します	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			8,560	10,796	2,871	0
	総事業費内訳	事業費		1,647	3,054	2,871	
		人件費		6,913	7,742	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.8	0.8		
			計	6,913	7,025	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0.2		
			計	0	718	0	0
	財源内訳	国庫支出金		1,096	1,435		
		都支出金			0		
		その他〔　　〕			0		
		一般財源		7,464	9,361		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
研修会へ参加した園の割合	(算出式) A/B A：研修会への参加園数 B：(区立保育園・こども園＋私立保育園＋認証保育所＋小規模保育＋私立幼稚園)の総数	64%	65% 【目標値】65.5%	72% 【目標値】67%			70%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	研修参加人数も延びており、講義を受けた後に実践し振り返りから見えた課題など討議する継続参加型の研修においては、更に学びを深めている。保育者が乳幼児期における発達段階を理解し、その発達に応じた教育・保育内容に取り組むことで子どもの学びの力を育んでいる。
事業の進捗状況 (現状分析)	保育所保育指針改定や幼稚園教育要領改訂についての職層別研修会を新たに加え実施したほか、２８年度に行った研修受講者アンケートを基に研修開催時期を設定した結果、研修会参加の割合は７割を越え目標値を上回った。 更に参加園数を増やすため、平成３０年度より開催時間を変更し実施していく。 保育所保育指針改定や幼稚園教育要領の改訂内容について更に理解を深めるための研修会を開催するなど、公私立園における就学前教育の質の向上と、保育者の共通理解を目指す。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	今まさに教育・保育の質そのものが問われている。子どもを育む環境をいかに向上させるかは喫緊の課題である。保育者の資質を向上させ、足立区の子ども達を育てる役割を強く認識してもらい、参加が拡大するよう工夫に努めてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　就学前教育推進課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－２	就学前からの学びの基礎づくり
事業名	１－２－②	幼保小連携活動
事業内容	「あだち５歳児プログラム」の実践により、園と家庭が連携した形での基本的生活習慣を身につける取り組みを推進するとともに、幼保小連携による幼児と児童の交流活動、教員と保育者の交流研修等により、相互が理解を深め、教育・保育に活かすことで、子どもの学びの構えを育みます。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			864	939	224	0
	総事業費内訳	事業費		0	61	224	
		人件費		864	878	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.1	0.1		
			計	864	878	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金			0		
		都支出金			0		
		その他〔　　〕			0		
		一般財源		864	939		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
基本的生活習慣が身についている１年生の割合	(算出式) A/B A：基本的生活習慣が身についている1年生の数 B：1年生の児童総数 ※以下の項目の達成状況で評価。 ・姿勢良く座ることができる ・静かに話をきくことができる ・1人でトイレを済ませることができる	―	92%	89% 【目標値】80%			80%	5
あいさつや返事ができる１年生の割合	(算出式) A/B A：あいさつができる1年生の数 B：1年生の児童総数	―	94%	80% 【目標値】80%			80%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	５歳児プログラムの実践により、子どもたちが小学校で学ぶ喜びを味わうための意欲や態度を育めるよう適切な時期に効果的な指導が行なわれている。小学校との交流や体験を通じて子どもたちに自信や達成感が生まれており、就学後の落ち着きへ繋がっている。交流研修等により教員・保育士の双方の関係が深まったことで、幼保小連携活動内容も多岐にわたっている。
事業の進捗状況 (現状分析)	小学校第１学年に関するアンケートについて、学級担任の見取り方の差を縮めるため、新たに【視点】を示し実施した。視点に基づいた見取りにより昨年度に比べ実績値は下回ったが、結果は目標値に達している。 平成３０年度は、５歳児プログラムと小学校スタートカリキュラムを一体とした「あだち幼保小接続期カリキュラム」を作成する。家庭の果たす役割の重要性や園の取組を周知目的とした家庭版も作成し、保護者会等を通して配付していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	子どもの個性や成長のスピードは違うため、数値の上下を単純に評価することには難しさもあるが、子どもの自主性を尊重しながら取り組みを続けてほしい。新たなカリキュラムの作成により、就学前から就学後へのよりスムーズなつながりを期待する。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　就学前教育推進課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－２	就学前からの学びの基礎づくり
事業名	１－２－③	子ども同士の交流活動
事業内容	園児が小学校の授業や給食などを体験することによって、小学校の様子を肌で感じ、入学への期待や意欲を高めます。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			3,655	6,168	317	0
	総事業費内訳	事業費		199	182	317	
		人件費		3,456	5,986	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.4	0.6		
			計	3,456	5,269	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0.2		
			計	0	718	0	0
	財源内訳	国庫支出金			0		
		都支出金			0		
		その他〔　　〕			0		
		一般財源		3,655	6,168		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
小学校との交流を行った園の割合	(対象) 幼保小連携ブロック会議に参加している園 (算出式) A/B A：交流活動を実施した園数 B：幼保小連携ブロック会議に参加している園の総数	84%	88% 【目標値】85.5%	91% 【目標値】87%			90%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	ブロック会議への参加をきっかけに、小学校との交流活動を行う園が幼稚園・保育園ともに増えている。給食体験をはじめとした子ども同士の交流活動は、小学生児童にとっては小さい子への思いやりの気持ちが育まれ、園児にとっては就学への不安が取り除かれるなど、有意義な活動である。
事業の進捗状況 (現状分析)	交流活動実施園は昨年度と比べ19園増え、全体で162園の参加となり、参加園児数は述べ3,776名であった。 園児が小学校の給食や授業等を体験することにより、就学への期待に繋がっている。就学時の状況も、個別の課題を除き概ね落ち着いてきている。 滑らかな小学校への移行に有効な活動であることから、引き続き実施していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★★	少子化により異年齢の交流が減っている社会状況において、子ども同士の交流は、コミュニケーションの発達に役立ち、園児、小学校の児童ともに貴重な機会である。これからも連携先を増やしながら、よりスムーズに小学校に移行できるよう、交流内容のさらなる充実にも努めていただきたい。

施策１－３

発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　保健予防課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－３	発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実
事業名	１－３－①	発達支援児の早期発見・早期支援の取り組み
事業内容	発達支援児を早期に発見し、身近な地域で一貫した適切な支援を行うため、関係機関との連携を図り子どもの発達を継続的に支援します。	

事業費等

投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
総事業費			713	595	308	0
総事業費内訳	事業費		332	296	308	
	人件費		381	299	0	0
	常勤	平均給与	8,641	8,781		
		人数	0.04	0.03		
		計	346	263	0	0
	非常勤	平均給与	3,576	3,588		
		人数	0.01	0.01		
		計	36	36	0	0
財源内訳	国庫支出金		0	0		
	都支出金		0	0		
	その他〔　　〕		0	0		
	一般財源		713	595		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
発達の遅れが疑われる３歳児の割合	(算出式) A/B A：3歳児健康診査で要精密検査対象とされた人数 B：3歳児健康診査受診者数	0.28%	0.1% 【目標値】0.285%	0.23% 【目標値】0.29%			0.30%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	発達の遅れが疑われる３歳児の割合は、平成２８年度より増加した。乳幼児健康診査は受診率も高く、発達の遅れた子どもを発見する大切な機会となっており、その役割が有効に機能していると考える。
事業の進捗状況 (現状分析)	発達の遅れが疑われる３歳児の割合は一定程度認められるものであり、また、年度により異なる。今後も発達の遅れた子どもを早期に確実に発見するために、小児科専門医による質が担保された健診を継続して実施する。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	より多くの子が３歳児健康診査を受けるよう周知・啓発に努めてほしい。また、丁寧な健診を今後も続けていただき、発見後の早期支援の充実にさらに努めていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　保健予防課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－３	発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実
事業名	１－３－②	乳幼児経過観察健康診査・乳幼児療育指導
事業内容	乳幼児健康診査や訪問・相談などから心身の発育・発達などに不安のある乳幼児に対し、健康診査及び相談を行います。必要に応じ心理相談、発達評価専門医による療育相談を行います。家族を含め継続した支援を実施しています。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			1,729	2,012	1,233	0
	総事業費内訳	事業費		829	1,186	1,233	
		人件費		900	826	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.1	0.09		
			計	864	790	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.01	0.01		
			計	36	36	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		1,729	2,012		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
対象者数に対する受診率	(算出式) A/B A：受診者数 B：対象者数	乳児 81.8% 1歳6か月 86.5% ３歳 82.6% 療育指導 86.8%	乳児 83.4% 【83.9%】 1歳6か月 80.2% 【87.4%】 ３歳 76.0% 【84.5%】 療育指導 93.8% 【87.6%】 ※【　】は目標値	乳児 87.6% 【85.9%】 1歳6か月 85.8% 【88.2%】 ３歳 80.3% 【86.3%】 療育指導 87.9% 【88.4%】 ※【　】は目標値			各90%	乳児 5 1歳6か月 1 ３歳 1 療育指導 4

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	乳児及び幼児の経過観察健康診査の受診率は平成２８年度に比べ増加したが、養育指導の受診率は減少している。経過観察健康診査及び療育指導は、発達障害の正確な判断や発達障害のある子どもへの接し方などの助言を行う大切な機会となっており有効であると考える。
事業の進捗状況 (現状分析)	経過観察健康診査及び療育指導の目的・大切さを分かりやすく伝え、受診率向上を図る。特に、受診が必要な療育指導については、保護者の理解を深めることで受診につなげるとともに、早期支援の仕組みも確立させていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	大変デリケートで難しい側面を持つ事業だが、早期の適切な対応がこれからの子どもの成長のためだけでなく、保護者の支援にもなると考える。今後も受診率の向上とともに、療育の場の充実にも努めていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　こども支援センターげんき支援管理課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－３	発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実
事業名	１－３－③	発達支援児の総合的な支援
事業内容	発達支援児に関する相談に応じます。また、関係機関と連携し、住み慣れた地域で健やかに成長していくための支援を行います。	

事業費等

投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
総事業費			20,904	27,963	4,830	0
総事業費内訳	事業費		134	4,830	4,830	
	人件費		20,770	23,133	0	0
	常勤	平均給与	8,641	8,781		8,641
		人数	0.5	1		
		計	4,321	8,781	0	0
	非常勤	平均給与	3,576	3,588		3,576
		人数	4.6	4.0		
		計	16,450	14,352	0	0
財源内訳	国庫支出金		7,352			
	都支出金		3,676			
	その他〔　　〕					
	一般財源		9,876	27,963	4,830	0

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
障がい福祉センター※で受けた発達支援児に関する相談事案のうち、保健センター、保育園・幼稚園等、こども支援センターげんきからの紹介により受けた相談事案が占める割合	(算出式) A/B A：保健センター等からの紹介による発達支援児に関する相談件数 B：障がい福祉センター※における発達支援児に関する全相談件数 ※H29年4月以降、所管課がこども支援センターげんきに変更	66%	67.3% 【目標値】69.5%	66.5% 【目標値】73%			80%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	子どもの健やかな成長を住み慣れた地域で支えていくためには、関係機関との連携は必要である。しかし、基準値は達成しているが、ここ数年変化が見られず伸び悩んでいる状態である。
事業の進捗状況 (現状分析)	平成３０年度は当係非常勤心理士が保健センター乳幼児健診の有所見児面接に従事し、就園前から就学前機関そして、就学初期につながる支援ができる。そこで、連携件数増が見込める。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	数値の伸び悩みは、一方では、直接相談を受ける割合があまり減っていないということである。そのため、今後は連携先との関係強化や情報共有等がより重要となると考えられる。平成30年度の非常勤心理士の活用に期待したい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　こども支援センターげんき支援管理課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－３	発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実
事業名	１－３－④	発達支援委員会の開催・園巡回指導
事業内容	発達支援委員会で検討された指導内容を保育所等に助言し、児童に適した保育の実践を支援します。個別支援計画の作成を促し、保護者への育児支援の一助とします。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			8,978	26,902	3,051	0
	総事業費内訳	事業費		337	3,051	3,051	
		人件費		8,641	23,851	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	1.0	1.0		
			計	8,641	8,781	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	4.2		
			計	0	15,070	0	0
	財源内訳	国庫支出金					
		都支出金					
		その他〔　　〕					
		一般財源		8,978	26,902		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
継続支援児のうち、支援の程度がⅠまたはⅡと判定された児童の割合 【低減目標】	(算出式) A/B A：支援の程度※がⅠまたはⅡと判定された継続支援児数 B：継続支援児の総数	55%	72% 【目標値】53.8%	65% 【目標値】52.6%			50%	1

※支援の程度

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
配慮が必要な行動上の課題	一対一での対応が必要で、集団での活動が困難	大人が仲介すれば、他児との活動はおおむね可能	大人の見守りのもと、他児との活動がおおむね可能	他児との関係が良好で、集団での活動がおおむね可能

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	児童ごとの所見を園に伝えフォローするなど、発達支援委員会の結果を保育に活かすことが、支援程度の軽減につながった。 保護者と共に作成する個別支援計画を基に合理的配慮事項を就学先などに伝え、支援の継続性を保持していく。
事業の進捗状況 (現状分析)	増加している保育所ならびに発達支援児に対し、非常勤心理士を増員し、訪問回数を増やして対応している。特性に応じた助言をすることで行動上の問題が軽減している。記録用紙を工夫し問題行動への対応など具体的に記載したものを園に残し、いつでも読み返し内容確認出来るようにしている。保育者が対応方法を理解することで、保護者の育児相談にも応じることが出来る。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	記録用紙の工夫・活用も功を奏していると考える。このような工夫は続けてほしい。指標の数値は意図して下げられるほど簡単なものではないが、保護者との信頼関係を最重要視しながら進めていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　こども支援センターげんき支援管理課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－３	発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実
事業名	１－３－⑤	従事職員のスキルアップ研修
事業内容	保育園、幼稚園等の職員を対象に研修を実施し、統合保育の充実を図ります。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			1,908	1,936	180	0
	総事業費内訳	事業費		180	180	180	
		人件費		1,728	1,756	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.2	0.2		
			計	1,728	1,756	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金					
		都支出金					
		その他〔　　〕					
		一般財源		1,908	1,936		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
研修最終日に実施する確認(習熟度)テストで、８０点以上を獲得した受講者の割合	(算出式) A/B A：80点以上を獲得した受講者数 B：全受講者数※ ※全9講座、41名が受講	―	19%	42% 目標値【39.3%】			80%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	発達障がい研修（全９講座）受講後、内容の習得度をはかる。昨年度の反省を活かし、講義の内容に事例を多く取り入れたためか、習得度が向上した。受講者の習得度が上がることで、発達支援児の保育力向上につながり、児童の困り感も軽減する。
事業の進捗状況 (現状分析)	年々保育施設は増加している。受講者増の対応と引き続きニーズに合わせた講座の開催を実施していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	発達障がい研修によって専門的知識を深めることは不可欠であり、着実に仕組みを作っている。また、障がいではない子どもの保育にも重なる部分も多く、貴重な保育人材の育成のため、質の高い充実した研修、バランスの良いテスト問題、「合格ライン」の調整等にこれからも努めてほしい。

施策１－４

子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　地域文化課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－４	子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
事業名	１－４－①	ギャラクシティでの多様な体験活動の提供
事業内容	子ども達の成長の糧となる多様な体験活動を提供し、参加した子ども達の好奇心をかき立てます。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			566,274	561,935	549,612	0
	総事業費内訳	事業費		529,623	544,373	549,612	
		人件費		36,651	17,562	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	3	2		
			計	25,923	17,562	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	3	0		
			計	10,728	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		65,910	65,557		
		一般財源		500,364	496,378		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
「ギャラクシティに複数回、来館している」と回答した方の割合	来館者向けのアンケート調査 (算出式) A/B A：ギャラクシティに複数回、来館していると回答した方 B：アンケートに回答した方	49.5%	65% 【目標値】52.1%	64% 【目標値】54.7%			60%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	子どもの知的好奇心を掻き立てる化学実験や講座、思い切り体を動かしチャレンジする心を育む遊具やクライミングウォール、親子で一緒に参加することができる講座やイベントを多数行っている。さまざまな体験を一箇所でできる環境が整っていることは子どもたちの成長に有効である。
事業の進捗状況 (現状分析)	屋内で遊べる無料施設が近隣にないことから、スペースあすれちっくは毎週土日に一時間以上の列ができるほど人気である。また、親子で参加できる講座も多数あることから、これらの事業が新たな平日のリピーター増加に寄与していると推測される。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	遊びやワークショップ等、子どもの知能や身体を刺激するソフト面の充実をさらに期待する。これまでの工夫がリピーター率の高さや人気に繋がっており、子どもの学びに寄与していると考える。今後は待ち時間の解消（空き時間を他の部屋や活動に振り向ける等）にもさらなる工夫を期待したい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　学校支援課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－４	子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
事業名	１－４－②	あだち放課後子ども教室
事業内容	地域の参画を得て、放課後の小学校の校庭や体育館、図書室等で、自由遊びや読書、自主学習の場を提供します。Ｈ２２年度に区内全小学校での開設が達成されました。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			234,782	226,828	228,154	0
	総事業費内訳	事業費		221,588	213,443	228,154	
		人件費		13,194	13,385	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	1.32	1.32		
			計	11,406	11,591	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.5	0.5		
			計	1,788	1,794	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		127,661	125,106		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		107,121	101,722		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
区内全小学校(６９校)のうち、全学年(１～６年)を対象に実施している小学校数	全学年を対象として放課後子ども教室を実施している小学校数	57校	60校 【目標値】60校	６３校 【目標値】63校			施設ごとの環境整備に合わせ、全校全学年実施を目指す	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	実施内容の拡充（対象学年拡大・体験プログラムの実施等）に向け、実行委員会と学校の話し合いや放課後子ども教室の巡回を重ねた結果、全学年実施校は２８年度に比べて３校増の６３校となり、放課後における子どもたちの安全安心な居場所の拡大につながった。参加児童アンケート調査の「参加することが楽しい・少し楽しい」と答えた割合が99%と利用者満足度が高い。
事業の進捗状況 (現状分析)	対象学年の拡充に向けた実行委員会と学校の話し合いや巡回等の運営支援等により、対象学年の拡大と事業運営の安定化につながった。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★★	着実な歩みによって全学年実施校の未達成校（６校）も残り少なくなってきたこと、また、利用者満足度も非常に高いことを評価したい。新たな体験プログラムの検討や効果の高いプログラムの他校への応用など、今後も工夫を続けていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども家庭部青少年課

施策群	1	家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	１－４	子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
事業名	１－４－③	ジュニアリーダーの育成
事業内容	研修会で動機づけを行い、子ども会を中心とした地域活動のリーダーを育成します。 （対象：中学生）	

事業費等

投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
総事業費			8,833	9,201	420	0
総事業費内訳	事業費		192	420	420	
	人件費		8,641	8,781	0	0
	常勤	平均給与	8,641	8,781		
		人数	1	1		
		計	8,641	8,781	0	0
	非常勤	平均給与	3,576	3,588		
		人数	0	0		
		計	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金		0	0		
	都支出金		0	0		
	その他〔　　〕		0	0		
	一般財源		8,833	9,201		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
子ども会のリーダーを育成する研修会を修了後、リーダーとなった割合	(算出式) A/B A：子ども会のリーダーとなった研修受講者数 B：研修受講者数（対象は中学生）	24%	36% 【目標値】33%	43% 【目標値】42%			60%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	29年度に研修会へ参加した中学生は23名であり、うち10名が引き続きジュニアリーダーとして研鑽を積むこととなった。少年団体連合協議会や地区少年団体協議会、地区青少年問題協議会の行事に積極的に参加し経験をつんでいる。
事業の進捗状況 (現状分析)	30年度は31名の参加で事業がスタートしていて、うち約半数は前年度小学6年生で参加し継続している。コミュニケーション能力向上と、リーダーの役割や楽しさを経験してもらうことを重点にプログラムを編成した。また実施回数の見直しにより、参加しやすい方法に変更を行った。今後は、さらに参加者にとって魅力あるプログラムを提供できるよう検討して、利用者の増を目指していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★★	町会・自治会活動の加入率が減少し、活動が停滞しつつある状況の中、子ども会も同様の傾向を示している。地区によっては、他地区への相乗りの例も聞くが、未来の地域活動を促進するために、これからも若い人材の育成に努力してほしい。

施策２－１

妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　保健予防課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－①	妊婦健康診査
事業内容	妊婦健康診査の受診により、健康管理、流・早産の防止、妊産婦・乳幼児死亡率の低下に努めます（妊婦１人あたり全１４回受診可）。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			446,399	437,432	453,713	0
	総事業費内訳	事業費		434,033	425,620	453,713	
		人件費		12,366	11,812	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	1.1	1.10		
			計	9,505	9,659	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.8	0.60		
			計	2,861	2,153	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		446,399	437,432		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
妊婦一人あたりの健康診査(全14回)の受診率	(算出式) A/B A：妊婦健康診査の受診数 B：妊娠届出者数×14回	86.1%	81% 【目標値】87.1%	83.2% 【目標値】88%			90%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	妊婦一人あたりの健康診査受診率は、平成２８年度より増加している。全１４回分交付された妊婦健診票が必ずすべて使用されるわけではないため、実際の受診率はさらに高いと思われる。ちなみに、初回受診票のみでの受診率は９０％を超えている。妊婦の健康管理と経済的負担を軽減することにより、安心して出産を迎えられる制度である。
事業の進捗状況 (現状分析)	妊婦健康診査は、定期的に健診を受けることにより、胎児の発育状態や母体の異常を早期発見するために重要である。安心して出産に備えてもらうため、必要健診回数をきちんと受診することを勧奨していく。平成３０年度から多胎妊娠の場合は、助成する受診回数の制限を撤廃している。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	安全に出産してもらうだけでなく、産まれる前から妊婦と行政・医療機関との繋がりを作ることで、その後のサポートにも役立つ事業であると考える。受診率のさらなる向上に努めてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　保健予防課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－②	妊産婦家庭訪問事業
事業内容	妊娠週数に応じた妊婦の健康管理を行い、胎児の良好な発達を促し、流・早産、妊娠高血圧症候群、低出生体重児等の発生を防止します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			85,952	99,041	6,913	0
	総事業費内訳	事業費		2,855	5,885	6,913	
		人件費		83,097	93,156	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	9.00	10.00		
			計	77,769	87,810	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	1.49	1.49		
			計	5,328	5,346	0	0
	財源内訳	国庫支出金		820	1,035		
		都支出金		820	1,035		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		84,312	96,971		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
妊娠届出者に対する訪問率	(算出式) A/B A：延べ訪問件数(ASMAP※＋こんにちは赤ちゃん訪問) B：妊娠届出者数 ※妊娠期から産後期の母子保健事業を充実することにより、養育困難や児童虐待を未然に防ぎ、健やか親子の成長を支える仕組みの総称	91%	96% 【目標値】93.3%	90.6% 【目標値】95.6%			100%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	妊娠届出者に対する訪問率は、平成２８年度より微減した。割合が増えているリスクの高い妊婦には複数回訪問を行い、妊娠中の適切な生活習慣等を指導している。母体の安定を促すことで、早期産の子どもの割合を減少させている。
事業の進捗状況 (現状分析)	妊娠届及びアンケートの内容から支援が必要な妊婦を把握し、保健師や助産師が訪問や面接・電話などで、きめ細やかに妊産婦への指導や相談・助言を行っている。引き続き、ASMAP事業による妊娠期から産後期にかけて、特に支援を必要とする世帯への切れ目のない個別支援の充実を図っていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	昨今の出産・子育て環境において、SNS等インターネットで多くの情報が得られる一方、身近に頼れる親族が少なかったり、同じような状況にある同年代の人が以前よりも減っているなど、母親が「孤独」になりがちでもある。訪問率のアップと合わせて、妊婦に寄り添った対応をこれからも充実させていくことを期待する。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　こども家庭支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－③	産前・産後家事支援事業（旧子育てホームヘルプサービス事業）
事業内容	産前産後の妊産婦がいる家庭を対象に、家事を支援するホームヘルパーを派遣します。 （H28年度新規事業）	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			2,521	3,332	1,685	0
	総事業費内訳	事業費		435	1,217	1,685	
		人件費		2,086	2,115	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.2	0.2		
			計	1,728	1,756	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.1	0.1		
			計	358	359	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		164	842		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		2,357	2,490		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
年間延べ利用件数	産前・産後家事支援事業の年間延べ利用件数	314件	554件 【目標値】438件	461件 【目標値】562件			809件	3
年間実利用人数	産前・産後家事支援事業の年間実利用人数	41人	52人 【目標値】56人	49人 【目標値】71人			100人	2

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	妊娠中から利用できるサービスであり、産前・産後期の家事負担を軽減できるため、施策に対し有効である。
事業の進捗状況 (現状分析)	従前の一時預かり事業者による家事支援事業が平成２８年度末で終了したことで、年間延べ利用件数は減少したものの、平成２８年度に開始した介護事業者による家事支援の利用件数は165件から461件に増加した。 引き続き、衛生部と連携し、サービスの周知を図っていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	他者を自宅に招き入れることに抵抗を感じる妊婦もいるかもしれないが、これまでの実績を基に、安心して利用できるサービスであることを広く知らせ、今後も利用実績を伸ばしてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　保健予防課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－④	ファミリー学級
事業内容	妊婦及びその家族に対する健康教育の充実を図るとともに、父親も参加できる子育ての仲間づくりを行い、交流を図ります（４日制・１日制）。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			8,800	8,189	6,546	0
	総事業費内訳	事業費		5,245	4,653	6,546	
		人件費		3,555	3,536	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.37	0.37		
			計	3,197	3,249	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.1	0.08		
			計	358	287	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		8,800	8,189		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
妊娠届出者数に占めるファミリー学級への参加率	(算出式) A／B A：ファミリー学級への参加者数 B：妊娠届出者数×２※ ※参加者数が両親での参加のため、便宜上、２倍にしています。	22.1%	18.8% 【目標値】22.8%	19.1% 【目標値】23.5%			25%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	妊娠届出者数に占めるファミリー学級への参加率は、平成２８年度より増加した。ファミリー学級は、参加者同士の交流や父親の育児参加を促し、育児不安解消等につなげている。平成３０年度から、日曜日（１日制）開催を実施し、より参加しやすくすることで受講機会の拡大を図り、参加率の向上を図っていく。
事業の進捗状況 (現状分析)	平成２９年度から、母親以外の保護者も参加しやすいように「ファミリー学級」と名称を変更した。父親の育児参加促進のため、父親ハンドブックの配付も開始している。参加者同士の交流により、出産前後の不安解消にも重要な役割を果たしているため、ニーズを把握しながら実施していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	男女ともに協力して育児をするという観点を持ち、ファミリー同士での仲間作りの要素を取り入れる等は評価できる。女性の就労が進む等、女性自身も平日に参加しにくくなっているが、今後も工夫を重ねて参加者を増やすことを期待する。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　保健予防課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－⑤	こんにちは赤ちゃん訪問事業
事業内容	保健師または助産師が訪問。育児不安の軽減、養育上必要な助言、指導、支援を行います。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			94,447	93,098	127,241	0
	総事業費内訳	事業費		26,177	25,047	28,382	
		人件費		68,270	68,051	98,859	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781	8,855	
			人数	7.4	7.19	10.30	
			計	63,943	63,135	91,207	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588	3,679	
			人数	1.21	1.37	2.08	
			計	4,327	4,916	7,652	0
	財源内訳	国庫支出金		9,100	12,298		
		都支出金		9,100	12,298		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		76,247	68,502		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
訪問実施率	(算出式) A/B A：延べ訪問件数 B：訪問連絡票届出(希望)件数	99.8%	99.7% 【目標値】99.85%	93.1% 【目標値】99.9%			100%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	訪問実施率（暫定値）は、平成２８年度の同時期の率に比べ微増した。２月・３月生まれの乳児は現在訪問中であるため、最終的な実施率は例年並みと思われる。各年９９％台と高い割合を維持している。乳児の発育状況と生活状況を把握し、産後うつ等になりやすい時期に相談にのることで、母親の育児不安解消と虐待の未然防止に有効であると考える。
事業の進捗状況 (現状分析)	ASMAP事業である赤ちゃん訪問においても、特に支援を必要とする世帯への複数回訪問を実施するなど、十分な支援ができるよう努めている。訪問申込はがき未提出者に対しては、電話や通知等による勧奨を強化している。妊娠期から産後期にかけての継続した支援として事業の充実を図っていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	ホルモンバランスの崩れや慣れない子育て、情報過多等が母親の不安を煽ることがある。対面によるアドバイスは母親の不安解消に重要であり、これからも取り組んでいただきたい。また、訪問の希望があったにも関わらず訪問面会できなかった人へのフォローのほか、必要に応じて他機関に繋げ、適切なサービスを案内してほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　保健予防課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－⑥	乳幼児健康診査（乳児、1歳6か月児、3歳児）
事業内容	月齢に応じた健康診査を行い、発育・発達状況や疾病の有無等の確認及び相談を実施し、子育ての不安を軽減します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			297,727	273,651	130,936	0
	総事業費内訳	事業費		132,651	125,993	130,936	
		人件費		165,076	147,658	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	16.0	13.89		
			計	138,256	121,968	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	7.50	7.16		
			計	26,820	25,690	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		297,727	273,651		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
各健康診査の受診率	(算出式) A/B A：各健康診査の受診者数 B：各健康診査の対象者数	①3～4か月児 97.9% ②6か月児 97.6% ③9か月児 92.0% ④1歳6か月児 88.4% ⑤3歳児 93.9%	①95.8%【98.2%】 ②93.2%【97.7%】 ③92.4%【92.8%】 ④88.6%【88.8%】 ⑤95.4%【94.1%】	①96.6%【98.5%】 ②90.2%【97.8%】 ③87.6%【93.6%】 ④90.8%【89.2%】 ⑤96.3%【94.4%】	※〔 〕は目標		①99.2% ②98% ③95% ④90% ⑤95%	3～4か月児 1 6か月児 1 9か月児 1 1歳6か月児 5 3歳児 5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	各健康診査の受診率は、平成２８年度と比べ若干の変動はあるものの高い受診率を維持している。未受診者の主な理由は、海外への出国、長期入院や疾患等による医療機関受診などさまざまである。健診は健康状態の確認のほか、母親の状況確認や虐待防止にも重要な役割を果たしているため有効であると考える。
事業の進捗状況 (現状分析)	乳幼児健診は、発育・発達状況の確認、疾病の予防・早期発見のほか、母親の育児不安軽減のための相談や安心して育児ができるよう支援する機会となっている。赤ちゃん訪問ができなかった世帯に対し、３～４か月児健康診査で乳児・母親の状況確認をするなどフォローも行っている。訪問委託による受診勧奨を拡大実施し、さらなる受診率向上をめざしていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	元々６ヵ月～１歳６ヵ月健診の受診率は他の月齢と比べて受診率が低い傾向にあるが、特に６ヵ月・９ヵ月が減少した（特に９ヵ月は90%を割っている）。受診していない層に虐待のケースが潜む可能性もあるため、その意味でも、今後は他の受診率が下がらないよう努めつつ、６ヵ月・９ヵ月健診に重点を置いてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　保健予防課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－⑦	子育て健康ひろば
事業内容	区内５箇所の保健センター等(中央本町、千住、竹の塚、東部、江北)を、親子の健康づくり活動の拠点、地域の親子の交流の場とします。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			122	124	0	0
	総事業費内訳	事業費		0	0	0	
		人件費		122	124	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.01	0.01		
			計	86	88	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.01	0.01		
			計	36	36	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		122	124		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
０歳から２歳児までの親子の参加率	(算出式) A/B A：親子の参加人数 B：0、1、2歳の総人口×2※ ※参加人数を親子の参加者数で集計しているため、便宜上、２倍にしています。	25.1%	25.4% 【目標値】26.3%	20.6% 【目標値】27.5%			30%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	子育て健康ひろばの参加率は、平成２８年度に比べ減少した。活動している自主グループはファミリー学級ＯＢ会であり、その開催回数減が要因と考えられる。子育て健康ひろばは、親と子の触れ合いだけにとどまらず、子育てに関する情報を取得する機会、親同士及び子ども同士の仲間づくりの場となっている。
事業の進捗状況 (現状分析)	各保健センター等を地域の親子の交流や子育て自主グループの活動の場として提供し、情報交換・相談・学習会などを実施している。交流や活動の場を提供することで、育児不安の軽減が図られるなどの効果もでている。周知方法を工夫することで、参加率の向上を図っていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	保育施設に子どもを預けていない保護者にとって、子ども同士が触れ合える場の選択肢　の一つとして「子育て健康ひろば」をさらにアピールしてほしい。子育てサロンとの差別化を図り、参加率の向上に努めていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　住区推進課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－1	妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
事業名	2－1－⑧	子育てサロン
事業内容	・乳幼児の親子の交流と仲間づくりの場を提供します。 ・乳幼児の年齢、発達に合わせた親子での遊びを提供します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			99,732	94,028	119,416	0
	総事業費内訳	事業費		90,140	84,369	119,416	
		人件費		9,592	9,659	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	1.11	1.10		
			計	9,592	9,659	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		14,325	15,862		
		都支出金		14,325	15,862		
		その他〔　　〕					
		一般財源		71,082	62,304		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
子育てサロンの利用者数	区内63箇所にある子育てサロンの利用者総数	413,731人 内訳） ･0～3歳児 177,171人 ･4歳児以上 34,911人 ･大人 201,649人	415,758人 内訳） ･0～3歳児 179,141人 ･4歳児以上 33,751人 ･大人 202,866人 【目標値】 426,866人	396,504人 内訳） ･0～3歳児 167,521人 ･4歳児以上 33,337人 ･大人 195,646人 【目標値】 433,393人			440,000人	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	・全区的に０～３歳児の人口は減少しており、子育てサロンの利用者数は、目標値も下回った。特に、児童館子育てサロンの利用者が減少している。 　大規模改修の際に乳幼児専用室の設置を図っているが、環境整備や子ども対応だけでなく、乳幼児の親に向けてニーズに合った対応ができるような支援が必要と思われる。 ・男性の利用率については、上昇している。
事業の進捗状況 (現状分析)	・プレママ等の受け入れは、まだ就労している人も多く、利用は伸びなかった。 ・父親向けのイベントについては、家族で参加する人が多くなっている。今後は家族向けのイベントの企画を増やしていく。 ・子育てサロンでの相談件数は、増えている。特に、発達やしつけ、生活習慣の相談が多くなっている。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	児童館子育てサロンは住区センター併設型が多いが、住区センターは高齢者の利用が中心というイメージがあることから、本事業の対象となる若年世代が子育てサロンの存在を知らない可能性もある。利用者が減少したとはいえ、コンスタントに利用されているので、これからも広報活動を工夫して続けていただきたい。

施策２－２

子育てと仕事の両立支援

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　子ども施設整備課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－①	保育施設等の整備
事業内容	働きながら安心して子育てできる環境づくりを推進するため、様々な保育ニーズに合わせた保育施設等の整備をより一層進めていきます。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			422,156	1,483,373	2,773,441	0
	総事業費内訳	事業費		396,233	1,448,249	2,773,441	
		人件費		25,923	35,124	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	3.0	4.0		
			計	25,923	35,124	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		85,332	622,138		
		都支出金		237,910	643,361		
		その他〔　基金　〕		72,991	182,750		
		一般財源		25,923	35,124		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
保育需要に対する待機児童率 【低減目標】	(算出式) A／B A：待機児童数 B：保育需要数(各保育施設等の利用児童数＋待機児童数)	2.4%	2.85% 【目標値】1.8%	1.53% 【目標値】1.2%			0.0%	4

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	平成29年度中に認可保育所10園、認証保育所1園、小規模保育3施設の新規整備を行い、既存施設の定員増などと併せて979人分の定員数拡大を行った。この結果30年4月における待機児童数は169人減の205人となり、保育需要数に対する待機児童率は1.5%（前年比1.4ポイント低減）と一定の改善が見られた。保育所等利用者数は昨年比496人増の13,236人となり、子育てと仕事の両立支援に大きく貢献していると思われる。
事業の進捗状況 (現状分析)	「足立区待機児童解消アクション・プラン」（平成30年2月改定版）に基づき、平成30・31年度（2018・2019年度）の2年間で新規施設の整備等により2,505人分の保育定員を拡大し、2020年4月の待機児童解消を目指している。地域ごとの待機児童の状況や、妊娠届時の利用意向調査の結果等を踏まえ、整備計画の見直しなどを盛り込んだアクションプランの改定を平成30年8月に行う予定である。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	前年の数値からポイント数にしてほぼ半減しており、大きく改善をしている。まず平成31年4月の待機児解消を目指すとともに、その後も待機児が出現しないよう着実に予測を行い、整備をしていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども施設整備課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－②	保育士確保・定着対策
事業内容	区内保育施設に就職した保育士等への経済的な支援や就職相談会・再就職セミナーの開催による就職支援を行うことで、保育士の確保・定着及び保育の質の維持・向上を図ります。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			90,648	198,682	535,557	0
	総事業費内訳	事業費		77,686	184,792	535,557	
		人件費		12,962	13,890	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	1.5	1.5		
			計	12,962	13,172	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0.2		
			計	0	718	0	0
	財源内訳	国庫支出金		29,040	111,972		
		都支出金		32,546	89,146		
		その他〔　　〕					
		一般財源		29,062	-2,436		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
就職相談会等の ①実施回数 ②参加者数	就職相談会等の①実施回数と②その参加者数	①　4回 ②181人	①　5回 【目標値】5回 ②199人 【目標値】228人	①６回 【目標値】６回 ②393人 【目標値】275人			①　7回 ②370人	①5 ②5
経済支援補助金の利用者数	保育士奨学金返済支援（H28年度から実施）及び保育士等住居借上げ支援(H28年1月から実施)の利用者数	26人	175人 【目標値】112人	363人 【目標値】198人			370人	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	就職相談会等には、潜在保育士等１４９名、学生２４４名が参加し、事業者の採用活動を間接的に支援した。また、受給要件を緩和し利用者増を図った経済的支援については、住居借り上げ支援利用者２６８名及び奨学金返済支援利用者９５名と前年比倍増となり、保育士確保・定着に貢献した。 なお、潜在保育士の掘り起こしを目的とした再就職セミナーについては、参加者延べ５２名のうち６名が再就職に結びついた。内訳はフルタイムが２名、パートタイム３名、非常勤が１名であった。
事業の進捗状況 (現状分析)	保育士養成学校、ハローワーク、保育事業者と連携し各事業を展開している。住居借り上げ支援及び奨学金返済支援については利用枠を増やしたため、範囲を広げたＰＲ活動に努め、利用者を増やし保育士、看護師確保・定着を進めていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	認可外保育施設はもちろんのこと、歯科医院や病児保育を実施する病院など、保育士資格を持つ者を雇用する場は他にもあり、こうしたことからも保育士の確保はこれからも困難であると推測される。しかし本事業の参加者数や利用者数は伸びており、その効果を期待したい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども施設整備課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－③	認証保育所の認可化移行支援
事業内容	３歳児からの受け入れ定員が不足する見込みの地域において、就学前までの持ち上がりが可能な定員を確保できるなど、一定の条件を満たす認証保育所の認可化を支援していきます。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			18,794	476,364	0	0
	総事業費内訳	事業費		17,066	474,608	0	
		人件費		1,728	1,756	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.2	0.2		
			計	1,728	1,756	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		12,852	224,288		
		都支出金		2,810	204,602		
		その他〔　基金　〕		1,404	45,718		
		一般財源		1,728	1,756		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
移行した認証保育所の数	Ｈ２８年度から３１年度までの間に、認可化した認証保育所の累計数	― (実績なし)	3所	7所 【目標値】 3.6所			5所	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	4施設の認可化により施設定員数が拡充されたことで、認可化を行わなかった場合と比べると待機児の解消に繋がっており、子育てと仕事の両立支援に貢献している。
事業の進捗状況 (現状分析)	現時点では3歳児以降の認可保育所の定員は区全体で充足する見込みであり、基本的には認可化は行わない予定である。ただし、地域ごとの定員整備の状況等を踏まえ、必要な地域においては、認可化を支援していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	待機児の解消、定員の充足を目指す中、一定の認可化は必要であり、認証保育所は利用者が直接契約できるという魅力等もある。地域の需要を見極め、今後も必要に応じてスピーディに対応できるよう期待する。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども施設入園課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－④	保育コンシェルジュ
事業内容	保育施設の案内や預け先の相談に、専門の相談員がお応えします。保護者の希望やお子さまの様子などを伺いながら、個別のニーズに合った保育施設やサービスをご案内します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			14,612	20,603	10,991	0
	総事業費内訳	事業費		7,460	9,839	10,991	
		人件費		7,152	10,764	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	2	3		
			計	7,152	10,764	0	0
	財源内訳	国庫支出金		907	1,839		
		都支出金		907	4,943		
		その他〔　　〕					
		一般財源		12,798	13,821		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
相談者の満足度	相談者を対象としたアンケート調査による集計値	－	93.9	96.4 【目標値】95.9%			100%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	平成29年度は非常勤保育コンシェルジュを1名増員した他、相談カウンターを整備し、より相談しやすい環境を整えた。また子育てサロンや保健センターでの出張相談、繁忙期の特設会場設置や福祉課での出張相談を積極的に行い、事業周知に努めた。その結果、年間利用延人数は3,570人と、前年度比約1.2倍となり、多くの世帯の子育てサービスの円滑な利用を支援することで、施策に有効的に寄与した。
事業の進捗状況 (現状分析)	利用者アンケートでは、満足度96.4%と前年度比2.5ポイント増加した。また平成30年4月入所では、保育コンシェルジュへの相談経験がある世帯の入所率が高い結果が出た。申込前の相談段階で、認可・認可外含め多様な保育施設の特徴や魅力、入所状況など様々な情報を伝えることで、その世帯にあった施設の選択に繋がる支援ができている結果であり、待機児解消、利用者支援の両面で効果が出ている。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★★	ニーズに合わせた預け先の細分化が進む傾向にあるため、利用者が独力で選択することがより難しくなっており、コンシェルジュの満足度が高いのは充分納得できる。今後はさらなる充実とともに、コンシェルジュを通さなくても済むような情報の周知や手続きの簡素化などに工夫をしていくことも必要と考える。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども施設指導・支援担当課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－⑤	保育施設等への指導検査の実施
事業内容	児童福祉行政の適正かつ円滑な実施を確保するため、保育施設等への指導検査を実施します(H28年度から実施)。また、指導検査とは別に、保育施設等への実地調査を実施しています。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			52,784	99,279	5,198	0
	総事業費内訳	事業費		938	705	5,198	
		人件費		51,846	98,574	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	6	10		
			計	51,846	87,810	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	3		
			計	0	10,764	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		52,784	99,279		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
指導検査において「文書指摘」または「口頭指導」となった保育施設等の割合 【低減目標】	(算出式) A/B A：指導検査項目（運営・保育・会計）のうち、「保育」について文書指摘または口頭指導をされた保育施設等の数 B：指導検査を実施した保育施設等の総数	—	—	64%			0%	―
指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の実地調査の際に改善されていた保育施設等の割合	(算出式) A/B A：改善されていた保育施設等の総数 B：指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった保育施設等の総数	—	—	100%			100%	―

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	平成29年度は家庭的保育事業者50施設、小規模保育事業所10施設、認可保育所は東京都と合同検査で6施設、区単独で特別指導検査を1施設実施した。指摘のあった施設については、後日、実地調査を行い改善されていることを確認した。指導検査と実地調査を行うことで、指摘箇所を理解し改善されていることから、この事業は子育てと仕事を両立するため、安心して子どもを預けられる保育施設を増やすことに有効である。
事業の進捗状況 (現状分析)	平成30年度は家庭的保育事業者50施設、小規模保育事業所10施設、認可保育所については、新たに区単独検査を開始し、東京都との合同検査を含め22施設実施する。今後施設数が増加する中で、保育の質の向上のため、更に指導検査実施数を増やす必要がある。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	保育園の民営化を進めていく上でも、区による指導・助言は重要である。「教育・保育の質ガイドライン」を活用しながら、教育・保育の質の向上のために適切な指導検査に努めてほしい。（H29年度から事業の本格実施）

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　住区推進課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－⑥	学童保育室の運営
事業内容	保護者の就労や病気などにより放課後子どもを保育できない家庭の小学生を保育し、児童の健全育成を図ります。学童保育室の増員・増室とあわせ、補完策として児童館機能の充実や放課後子ども教室との連携を進め、保護者への学童保育室以外の居場所の情報提供を強化することで学童保育需要の適正化を図り、待機児童を解消していきます。また、都や区が実施する学童指導員向け研修の受講を奨励して指導員の専門性を高めるとともに、安全な保育に必要な職員数を配置し、放課後の保育の質の向上を図ります。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			1,297,531	1,379,020	1,254,449	0
	総事業費内訳	事業費		1,035,198	1,121,037	1,254,449	
		人件費		262,333	257,983	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	17.53	17.53		
			計	151,477	153,931	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	31	29		
			計	110,856	104,052	0	0
	財源内訳	国庫支出金		168,882	196,948		
		都支出金		178,661	208,143		
		その他〔　　〕		259,892	266,921		
		一般財源		690,096	707,008		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
学童保育室の待機児童率 【低減目標】	(算出式) A/B A：待機児童数 B：入室申請者数	3.9%	3.4% 【目標値】2.9%	5.4% 【目標値】1.9%			0%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	27年度に入室対象が6年生まで拡大したことや、大型マンションの建設および共働き家庭の増加により需要が大幅に増え、増室や定員の弾力化などにより定員増を図ったが目標達成には至らなかった。今後も目標を達成すべく定員増を図るとともに、児童館特例利用など放課後のすごし方の情報を積極的に提供していく。
事業の進捗状況 (現状分析)	ランドセルで児童館（児童館特例利用）や放課後子ども教室など学童保育以外の放課後のすごし方の情報提供をより積極的に行い、真に学童保育が必要な児童の受け入れと小学生の安全な居場所づくりを進めた。補完策として、児童館入退室メール配信サービスを新たに15館で導入した。また、指導員の専門性を高めるため、東京都放課後児童支援員認定資格研修を134名が受講し認定資格を取得した。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	補完策とはいえ、メール配信サービスは満足度も高く、学童保育室への入室までは必要としない世帯を浮かび上がらせる効果もあるため、他の事業とも組み合わせて、これからも努力を続けていただきたい。また、年度始期と終期の入室人数のアンバランスを解消する方策の検討も続けていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　区民参画推進課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－⑦	ワーク・ライフ・バランス推進のための専門家派遣事業
事業内容	労働条件の整備や業務改善を行い、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業に対して、社会保険労務士や経営コンサルタント等の専門家派遣による支援を行います。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			22,776	24,320	6,103	0
	総事業費内訳	事業費		1,918	3,170	6,103	
		人件費		20,858	21,150	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	2.00	2.00		
			計	17,282	17,562	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	1.00	1.00		
			計	3,576	3,588	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		22,776	24,320		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
【旧】 支援メニューを利用したワーク・ライフ・バランス推進に取り組む企業数	社会保険労務士または経営コンサルタントを派遣し経営改善等を図った企業数	3社(計4回派遣)	2社(計4回派遣) 【目標値】 6社	2社(計4回派遣) 【目標値】 ９社			社会保険労務士等の専門家派遣10社に派遣 経営コンサルティング業務委託5社に派遣	1
【新】 支援メニューを利用したワーク・ライフ・バランス推進に取り組む企業数	同上	同上	2社(計4回派遣) 【目標値】 ４社	2社(計4回派遣) 【目標値】 ５社			５社 （計１０回派遣）	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度時点の目標値を設定し、その設定数値に対する進捗度とする)。
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	社会保険労務士を顧問とする企業が多くなっているため、活用実績は目標を下回っているが、まだ顧問契約をする余裕がない企業のためにも当該事業は必要である。
事業の進捗状況 (現状分析)	労働環境の整備のため、各企業の課題に合わせて社会保険労務士等の専門家を活用していくよう提案しながら周知を行い、利用拡大を図っていく。 なお、区の「重点プロジェクト」で示している指標と合わせるため、今回から指標を変更したい。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★☆☆☆	区内の中小企業においてはワーク・ライフ・バランスにまだ意識が向かない企業も多いと推測される。しかし労働人口が減少する中、社員を確保するには、給与以外の労働条件も無視はできない。中小企業でも取り組みやすい内容で今後も利用拡大を図ってほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　区民参画推進課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－⑧	ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度
事業内容	中小企業のワーク・ライフ・バランスの取り組みや成果を、ワーク・ライフ・バランス推進企業制度基準により認定します。認定企業を冊子や広報等で広くＰＲし、区内中小企業の取り組み意欲を喚起します。推進企業に認定するだけでなく、様々な支援サービスの提供や更新審査等によりその質の維持・向上を図り、ワーク・ライフ・バランス社会を推進します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			22,776	24,320	6,103	0
	総事業費内訳	事業費		1,918	3,170	6,103	
		人件費		20,858	21,150	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	2.00	2.00		
			計	17,282	17,562	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	1.00	1.00		
			計	3,576	3,588	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		22,776	24,320		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
足立区ワーク・ライフ・バランス認定企業の数	ワーク・ライフ・バランス推進企業として認定された企業の数（各年４月１日時点）	49社	52社 【目標値】56社	57社 【目標値】63社			75社	3

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度時点の目標値を設定し、その設定数値に対する進捗度とする)。
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	企業事情による既認定企業２社の辞退はあったものの、新規認定企業数は７社となり、前年の新規数より４社増加した。通常、準備企業登録後に時間をかけて、認定条件を整えたうえで認定に至るが、登録をせずに認定された企業が新規認定企業７社のうち２社あった。施策への関心が高くなっていることがうかがえる。
事業の進捗状況 (現状分析)	区内企業は、ほとんどが中小零細企業であるため、認定に至るまでに労働環境の整備や両立支援などの取組みに加え、労働条件に関する書類審査が必要な現行制度は、敷居が高いという声がある。認定後に付与される応援サービスについては、企業によりメリットを感じさせる内容としていくことが課題である。また、認定企業の中には、企業のイメージアップや優秀な人材の確保・定着をＷＬＢ認定の目的とする企業もあり、認定企業の周知やＰＲの仕方も検討する必要がある。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	目標値には届かなかったが、着実に認定企業数が増えていることは評価できる。現行制度の課題解決とともに、周知の工夫を今後もお願いしたい。また、さらなる支援ノウハウの集積、認定後の企業自身による発信を働きかけるとともに、区がこの制度や認定企業をさらに積極的にPRしていくことを望む。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　区民参画推進課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－2	子育てと仕事の両立支援
事業名	2－2－⑨	男性セミナーの実施
事業内容	男性セミナーを実施し、父親が子どもと一緒に過ごす場を提供するとともに、年齢に応じた親子の時間を楽しむ機会を提供します。また、「子育てするパパ」同士の緩やかな繋がりを育み、パパサークル等の構築支援を行います。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			25,412	22,741	1,591	0
	総事業費内訳	事業費		4,554	1,591	1,591	
		人件費		20,858	21,150	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	2.00	2.00		
			計	17,282	17,562	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	1.00	1.00		
			計	3,576	3,588	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0			
		都支出金		0			
		その他〔　　〕		0			
		一般財源		25,412	22,741		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
男性セミナーの ①実施回数 ②参加者数	男性セミナーの①実施回数と②参加者数	①　9回 ②261人	①　8回 【目標値】12回 ②541人 【目標値】321人	①9回 【目標値】9回 ②211人 【目標値】250人	・H31の目標値②を減（500→250）。 ・H29の目標値①②を変更（①15→9、②381→250）。 ただし25人/回の条件は変えないものとする。		①　10回 ②250人	①5 ②5
男性セミナーの満足度	参加者アンケートで、「満足」または「やや満足」と回答した参加者の割合 (算出式) A/B A：「満足」または「やや満足」と回答した参加者数 B：アンケート回答者数	満足77% やや満足10% 計87%	満足72% やや満足10% 計82% 【目標値】満足90.3%	満足67% やや満足33% 計100% 【目標値】満足93.6%			満足95% やや満足5% 計100%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度時点の目標値を設定し、その設定数値に対する進捗度とする)。
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	主にパパビクスや料理講座など、親子の触れ合いなど実技を中心としたイクメン講座とし、概ね目標通りの結果となった。なお、男性セミナーの参加者数について、230人減となっているが、本庁舎であった大規模イベントの開催がなかったためである。
事業の進捗状況 (現状分析)	体操や料理教室など、父子が触れ合う機会の提供をメインとしながら男性の育児参加支援を行っていく。また、参加者同士で話す場を設け、父親のネットワークづくりも併せて行っていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	子育てに関心の低い父親もいる一方で、忙しくとも子育てや青少年活動に関わろうとする父親も一定数いる。その層をできる限り増やしていってほしい。女性を主な対象とする事業とは着眼点や進め方が違うこともあろうが、これからも努力を続けてほしい。

施策２－３

困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　こども家庭支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－①	きかせて子育て訪問事業
事業内容	出産または育児に対する孤立感や不安感を抱えた妊婦または未就学児のいる保護者を定期的に訪問し、傾聴等の支援を行います。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			4,681	7,027	3,685	0
	総事業費内訳	事業費		1,373	3,675	3,685	
		人件費		3,308	3,352	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.3	0.3		
			計	2,592	2,634	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.2	0.2		
			計	715	718	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		607	1,823		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		4,074	5,204		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
利用者数 ※H29年2月から事業開始	きかせて子育て訪問の利用者数	―	0人	18人 【目標値】33人			100人	3

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	出産や育児への不安な気持ちを傾聴することで、利用者のストレス発散や不安軽減を図ることができるため、施策に対しては有効である。
事業の進捗状況 (現状分析)	平成３０年度はさらに利用実績を伸ばせるよう、引き続き衛生部と連携し、利用者を増やす取組みを行う。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	ストレスや不安を抱える人は、自分からはクリニック等の相談機関には行けないことも多い。危険の芽を摘むためにも、身近な所での支援の仕組みは必要であり、地道な訪問を行ってほしい。しかしそれが浸透するには時間もかかり、難しい事案でもあるので、目標値を下方修正し、着実に実施することを目指してほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　こども家庭支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－②	メール配信事業「新米ママパパの子育てブログ」
事業内容	初めて出産する母親が感じた子育ての悩みに対する助言を、ブログ調でメール配信し、育児不安への対処法や子どもの関わり方等を分かりやすく紹介します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			999	1,015	150	0
	総事業費内訳	事業費		135	137	150	
		人件費		864	878	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.1	0.1		
			計	864	878	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		45	45		
		都支出金		45	45		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		909	925		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
登録者数 ※H27年8月から事業開始	メール配信の登録者数	2,464人	4,958人 【目標値】 4,848人	7,553人 【目標値】 7,232人			12,000人	5
配信内容の満足度	登録者アンケート※で、「内容に満足している」と回答した登録者の割合 ※H29年度から実施予定 (算出式) A/B A：「内容に満足している」と回答した登録者数 B：アンケート回答者数	―	―	72.5% 【目標値】 70%			70%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	平成２８年度より、パパの視点からのブログ内容も追加した。 妊娠中から未就学児までの内容となっており、育児不安への対処法なども紹介しており、施策に対し有効である。
事業の進捗状況 (現状分析)	メール配信の登録者数は増加している。アンケートを実施し、内容の充実を図る。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	着実に数値を上げているのは高く評価できる。常に発信し続けるのは苦労が多いとは思うが、ユーザーに飽きが来ないよう、これからも工夫を続けてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　こども家庭支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－③	児童虐待対応
事業内容	虐待被害の拡大防止となる児童虐待に係る通告制度の普及を図るとともに、児童、地域住民及び関係機関からの虐待通告を受け、迅速に対応します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			67,134	67,992	0	0
	総事業費内訳	事業費		0	0	0	
		人件費		67,134	67,992	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	5.7	5.7		
			計	49,254	50,052	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	5.0	5.0		
			計	17,880	17,940	0	0
	財源内訳	国庫支出金		4,185	5,573		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		62,949	62,419		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
児童虐待受理件数	こども支援センターげんきにおける児童虐待に関する受理件数	815件	778件 【目標値】836件	809件 【目標値】857件			900件	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	児童虐待に関する受理件数（通告数）は高止まりの状況が続いており、平成２８年度と比べると増加している。 児童虐待は、子どもの心身の成長に悪影響を及ぼすことから、早期発見、早期対応が重要であるため、施策に対する有効性は高い。
事業の進捗状況 (現状分析)	平成２９年度からこども支援業務強化専門員の増員及び要保護児童支援専門員を設置し、体制強化を図った。 引き続き、高い危機意識を持って取り組んでいく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	受理件数が増加しており、社会的な認識が深まっていると推測できる。しかし全てが通告されているとは言いがたい。痛ましい事件も発生している中、関係機関と連携しながら、尽力してほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　こども家庭支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－④	児童虐待防止講座（子育て交流講座(NP講座)、怒鳴らない子育て講座)の実施
事業内容	育児不安を抱える親の不安解消等を目的とした「子育て交流講座(NP 講座)」、よりよい親子関係を学ぶ「怒鳴らない子育て講座(実践編・入門編)」を実施することで、児童虐待の未然防止を推進します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			2,074	2,010	920	0
	総事業費内訳	事業費		852	773	920	
		人件費		1,222	1,237	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.1	0.1		
			計	864	878	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.1	0.1		
			計	358	359	0	0
	財源内訳	国庫支出金		55	57		
		都支出金		392	374		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		1,627	1,579		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
延べ参加者数	講座への延べ参加者数	138人	99人 【目標値】154人	95人 【目標値】170人			202人	1
定員に対する参加率	(算出式) A/B A：全講座の参加者数 B：全講座の定員数	79.3%	44.2% 【目標値】82.0%	42.4% 【目標値】84.7%			90%	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	参加者の育児不安の軽減を図り、子どもへの効果的な接し方を習得することで、児童虐待の防止に寄与している。 子育て講座の土曜開催回数を増やしたところ、参加者数がかえって伸び悩み、全体の参加者数は減少した。一方、平日に参加できない区民の参加に繋げることができた。
事業の進捗状況 (現状分析)	怒鳴らない子育て講座の実施回数を見直し、平成30年度は1日完結型講座（入門編）の回数を減らし、6日連続型講座（実践編）の回数を増やした構成で実施する。 また、従前の電話による申込に加えて区のホームページからの申込を開始したことで、より多くの方の参加に繋げていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	児童虐待を防止するため、保護者として柔軟な考え方や感情のコントロール法を学べる事業は大変重要である。しかし実績が前年とさほど変わっていないことからも、そもそもこういった講座に興味がない保護者を取り込んでいく方策をさらに工夫してほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　親子支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－⑤	児童扶養手当
事業内容	児童を養育しているひとり親等(家庭)に対して、手当を支給します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			3,080,183	3,071,004	3,098,036	0
	総事業費内訳	事業費		3,008,968	2,998,773	3,098,036	
		人件費		71,215	72,231	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	7	7		
			計	60,487	61,467	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	3	3		
			計	10,728	10,764	0	0
	財源内訳	国庫支出金		997,801	991,428		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		7,295	11,129		
		一般財源		2,075,087	2,068,447		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
児童扶養手当受給者数【低減目標】	児童扶養手当の受給者数	7,765人	7,668人 【目標値】7,649人	7,420人 【目標値】7,533人			7,300人	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	足立区における0～18歳の人口と離婚件数の減少に伴い、児童扶養手当の受給者数も減少しており、平成29年度は前年度と比べ248人減少した。今後も受給者数は緩やかに減少していく見込みである。手当を支給することで、ひとり親家庭等になった際の経済的な負担を一定程度緩和し、生活の不安を解消している。これにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に貢献している。
事業の進捗状況 (現状分析)	対象者には、あだち広報や区ホームページ、ひとり親家庭の暮らしに役立つ応援ブック、子育てガイドブック、豆の木メールを活用し、新規申請や現況届の手続きの周知に努めている。また、戸籍住民課や区民事務所等と連携して案内配布を行うことにより申請漏れを防いでいる。自立支援については、現況届等の面談の際にひとり親家庭支援担当の「豆の木相談室」を案内している。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	必要としている人に制度を適切に利用していただき、そのうえで自立支援への取り組みを今後も続けていただきたい。また、離婚後の自立のために、これからもわかりやすい情報提供を続けてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　親子支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－⑥	児童育成手当
事業内容	児童を養育しているひとり親等(家庭)に対して、手当を支給します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			2,075,186	2,031,916	2,053,500	0
	総事業費内訳	事業費		2,033,470	1,989,616	2,053,500	
		人件費		41,716	42,300	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	4	4		
			計	34,564	35,124	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	2	2		
			計	7,152	7,176	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0			
		都支出金		0			
		その他〔　　〕		3,900	3,908		
		一般財源		2,071,286	2,028,008		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
児童育成手当受給者数【低減目標】	児童育成手当の受給者数	9,118人	9,039人 【目標値】9,039人	8,706人 【目標値】8,960人			8,800人	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	足立区における0～18歳の人口と離婚件数の減少に伴い、児童育成手当の受給者数も減少しており、平成29年度は前年度と比べ333人減少した。今後も受給者数は緩やかに減少していく見込みである。手当を支給することで、ひとり親家庭等になった際の経済的な負担を一定程度緩和し、生活の不安を解消している。これにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に貢献している。
事業の進捗状況 (現状分析)	対象者には、あだち広報や区ホームページ、ひとり親家庭の暮らしに役立つ応援ブック、子育てガイドブック、豆の木メールを活用し、新規申請や現況届の手続きの周知に努めている。また、戸籍住民課や区民事務所等と連携して案内配布を行うことにより申請漏れを防いでいる。自立支援については、現況届等の面談の際にひとり親家庭支援担当の「豆の木相談室」を案内している。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	一人親世帯が安心して子育てをしていくためには、家庭の経済状況の安定が重要である。制度を利用してもらいながら、自立への道を進めるよう、これからも関係各所と連携をとり、目標値をさらに上回るよう進めてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　親子支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－⑦	ひとり親家庭等医療費助成
事業内容	児童を養育しているひとり親家庭等に対して、医療費を助成します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			302,867	297,207	278,686	0
	総事業費内訳	事業費		269,792	263,688	278,686	
		人件費		33,075	33,519	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	3	3		
			計	25,923	26,343	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	2	2		
			計	7,152	7,176	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0			
		都支出金		0			
		その他〔　　〕		532	345		
		一般財源		302,335	296,862		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
ひとり親家庭等医療費助成対象世帯数【低減目標】	ひとり親家庭等医療費助成の対象世帯数	5,587世帯	5,445世帯【目標値】5,515人	5,258世帯【目標値】5,443人			5,300世帯	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析(施策に対する有効性の評価)	足立区における0～18歳の人口と離婚件数の減少に伴い、ひとり親家庭等医療費助成受給世帯数も減少しており、平成29年度は前年度と比べ187世帯減少した。今後も受給世帯数は緩やかに減少していく見込みである。医療費を助成することで、ひとり親家庭等になった際の経済的な負担を一定程度緩和し、生活の不安を解消している。これにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に貢献している。
事業の進捗状況(現状分析)	対象者には、あだち広報や区ホームページ、ひとり親家庭の暮らしに役立つ応援ブック、子育てガイドブック、豆の木メールを活用し、新規申請や現況届の手続きの周知に努めている。また、戸籍住民課や区民事務所等と連携して案内配布を行うことにより申請漏れを防いでいる。自立支援については、現況届等の面談の際にひとり親家庭支援担当の「豆の木相談室」を案内している。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	他の一人親支援の制度と連動して、こちらも対象世帯数が減少しており、評価できる。一人親世帯の自立に向けて、努力を続けてほしい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　親子支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－⑧	ひとり親家庭応援メールの配信
事業内容	ひとり親家庭の方向けの手当や就職・転職に関するお知らせのほか、親子で楽しめるイベント情報など、様々なお知らせをメールでお送りします。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			2,072	2,090	300	0
	総事業費内訳	事業費		135	135	300	
		人件費		1,937	1,955	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.1	0.1		
			計	864	878	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0.3	0.3		
			計	1,073	1,076	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		2,072	2,090		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
ひとり親家庭応援メール配信世帯数	ひとり親家庭応援メールの登録世帯数	100世帯	330世帯 【目標値】700世帯	942世帯 【目標値】1,300世帯			2,500世帯	4

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	平成２９年度に、届く情報の内容や特典を紹介するチラシのデザインを見直したところ、登録者数は約３倍に増加した。実態調査の結果から何らかの支援が必要な対象者を約4000世帯とすると、需要はまだあると考える。登録に繋がる効果的な周知を行うとともに配信内容を充実させ、ひとり親家庭にいち早く情報が伝えられるツールとして確立するよう登録者数の増に引き続き取り組んでいく必要がある。
事業の進捗状況 (現状分析)	平成２９年度の配信回数は１２２回(平成２８年度は８２回）情報件数は１７３件（平成２８年度は１１２件）で前年度以上に情報提供の充実も進めている。また、庁内外で実施するひとり親家庭の参加枠がある事業の情報提供を行ったり、登録者限定情報を設ける等、今後も登録するメリットを感じられるような情報提供を行っていく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	登録者数が大幅な伸びを示したことを高く評価したい。今後は、口コミによってさらに評判が広がることも期待できる。送付頻度を増やしたり、内容をさらに充実させるなど、力を注がれたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　親子支援課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－3	困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
事業名	2－3－⑨	就労のための資格取得支援
事業内容	生活の自立に向けて、資格取得など就労に向けた支援を行います。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			41,907	54,989	51,544	0
	総事業費内訳	事業費		35,172	50,362	51,544	
		人件費		6,735	4,627	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.2	0.2		
			計	1,728	1,756	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	1.4	0.8		
			計	5,006	2,870	0	0
	財源内訳	国庫支出金		28,289	41,755		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		13,618	13,234		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金支給対象者数	自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金の支給対象者の数	自立支援教育訓練給付金 8人 高等職業訓練促進給付金 26人	自立支援教育訓練給付金 8人 【目標値】10人 高等職業訓練促進給付金 37人 【目標値】28人	自立支援教育訓練給付金 28人 【目標値】12人 高等職業訓練促進給付金50人 【目標値】30人			自立支援教育訓練給付金 15人 高等職業訓練促進給付金 35人	自立支援教育訓練給付金 5 高等職業訓練促進給付金 5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	【自立支援教育訓練給付金】29年度中の修了者は19名でうち16名が就労。すぐに就労はせず、将来のキャリアアップを目的とする利用者も増えてきている。 【高等職業訓練促進給付金】平成29年度の修了者12名中8名が正規雇用、1名は資格試験不合格。他3名は子育て等の理由により、非正規就労を選択した。資格取得は正規雇用の就労に繋がる可能性は高い。
事業の進捗状況 (現状分析)	平成29年度に就職や転職に使える支援をわかりやすくまとめた冊子を作成し、平成30年4月に児童育成手当受給者（ひとり親家庭約7100世帯）に配付。今後は、冊子とリンクした就労支援セミナー・講座を開き転職の後押しをすることで給付金利用者を増やしていく。また。就業と家庭の両立を支援するため、平成30年度中に新たに家事・育児支援サービスを開始する。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★★	目標値を大きく超える実績を出したことを高く評価したい。安定した就労は経済的な安定だけでなく、生活リズムが整った落ち着いた生活にもつながる。新たなサービスにも期待したい。

施策２－４

安心して子育てのできる生活環境の整備

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　ユニバーサルデザイン担当課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－4	安心して子育てのできる生活環境の整備
事業名	2－4－①	ユニバーサルデザイン（バリアフリー）の推進
事業内容	子ども、子育て中の方等の移動や施設の利用における利便性、安全性の向上を図るため、ユニバーサルデザイン推進計画及びバリアフリー推進計画に基づき、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			25,649	20,998	2,007	0
	総事業費内訳	事業費		6,639	1,680	2,007	
		人件費		19,010	19,318	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	2.2	2.2		
			計	19,010	19,318	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		1,980	0		
		都支出金		750	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		22,919	20,998		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
ユニバーサルデザイン推進計画の個別施策の評価点の平均値	個別施策のうち、次の施策の評価点の平均値 1-①ユニバーサルデザインに配慮した歩道を整備する 1-②ユニバーサルデザインに配慮した公園を整備する 1-③ユニバーサルデザインに配慮した公共施設を整備する 1-④ユニバーサルデザインに配慮した民間施設を整備する 1-⑧放置自転車等をなくす対策を強化する	3.6点	3.8点 【目標値】3.65点	3.8点 【目標値】3.7点			3.8点	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	各施設管理者が、ユニバーサルデザイン推進計画に基づき施設の整備及び維持管理を行うことにより、安心して子育てできる生活環境を整備できる。
事業の進捗状況 (現状分析)	ユニバーサルデザイン推進会議において、各施設管理者が施設のユニバーサルデザイン化に取り組んでいるとの評価をいただいた。 今後も、各施策のスパイラルアップを図っていくように、各施設管理者と協議を行い、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	子育てしやすい街は、高齢者にも優しい街と重なる点も多い。こうした取り組みが新たな住民を呼び込み、また、定着させることにもなる。長期的で広域的な取り組みだが、これからも関係者と協議を続け、街づくりを進めていただきたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　子ども政策課　管理係

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－4	安心して子育てのできる生活環境の整備
事業名	2－4－②	赤ちゃん休憩室
事業内容	オムツ替えや授乳スペースの提供に協力していただける民間施設を増やし、気軽に外出しやすい環境をつくります。なお、公私立認可保育園等の公共施設では、34施設（H29年4月1日現在）に赤ちゃん休憩室を設置しています。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			864	1,004	126	0
	総事業費内訳	事業費		0	126	126	
		人件費		864	878	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	0.1	0.1		
			計	864	878	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		864	1,004		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
民間施設における設置箇所数	民間における赤ちゃん休憩室への協力施設数	15箇所	18箇所 【目標値】19箇所	19箇所 【目標値】23箇所			30箇所	1

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	実績値は年々増加しており、民間施設においても乳幼児連れの保護者が外出しやすい（お店に来やすい）環境づくりに取り組み始めていることがうかがえる。 保護者が乳幼児と一緒に、気軽に外出しやすい環境づくりに向け有効な施策であるため、引き続き協力施設数を拡大していく。
事業の進捗状況 (現状分析)	協力施設数の拡大に向け、あだち広報や区ホームページ、ツィッターへ協力店募集記事を掲載している。この結果、30年度既に１施設を認定した。さらにいくつかの施設から新規協力したいとの相談も入っており、今後も登録施設数の増加が見込まれる。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	昨今は小型のショッピングモールでも、乳幼児連れの保護者が来店しやすい環境整備を重視し、設備を整えている。本取り組みのように街ぐるみでそれを行うのは、子育てだけでなく区内産業の活性化にも寄与するものであり、さらなるＰＲと今後の展開を期待する。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　公園管理課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－4	安心して子育てのできる生活環境の整備
事業名	2－4－③	公園等遊具の安全対策
事業内容	専門技術者による定期点検（年１回）、管理部署による日常点検（月１回）を実施し、劣化及び摩耗が進行している遊具については補修・撤去を行い、安全な公園を提供します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			11,802,256	15,004,496	17,445,999	0
	総事業費内訳	事業費		11,664,000	14,864,000	17,445,999	
		人件費		138,256	140,496	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	16	16		
			計	138,256	140,496	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	0	0		
			計	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0		
		都支出金		0	0		
		その他〔　　〕		0	0		
		一般財源		11,802,256	15,004,496		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
定期点検時における、直ちにまたは３か月を目処に補修または撤去を要する遊具の数（全遊具に占める割合）【低減目標】	(算出式) A/B A：定期点検により、補修または撤去を要すると判定された遊具の数 B：区内の全遊具数	２８基（1.2%）	２９基（1.3%）【目標値】２６基	２５基（1.2%）【目標値】２４基			２０基（0.9%）	4

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	多くの公園･児童遊園で遊具の老朽化が進み、劣化および摩耗が進行しており、将来を見据えた計画的な補修・改修が必要な状況にある。利用者への継続的な安全対策は必要不可欠であり、遊具の老朽化や不具合による事故防止のためにも遊具点検は重要と考える。
事業の進捗状況 (現状分析)	専門業者による定期点検の結果を踏まえ、計画的に遊具の補修・改修を実施している。また、各種点検により遊具の部材ごとの破損や腐食・塗装の剥がれや錆などに対する早期補修も実施している。引き続き、定期点検や日常点検を実施して、利用者が安心・安全に利用できるよう努めていく。（H29年度総遊具数：2,101基）

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★☆☆	「公園」は足立区の「売り」の一つでもあり、一定数の遊具はなくてはならないものである。遊具の数や配置のバランスを考慮しながら、計画的なメンテナンスを行い、これからも安全な公園づくりをお願いしたい。

平成３０年度 事業分析表（平成２９年度事業実施分）

作成担当課　　パークイノベーション担当課

施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2－4	安心して子育てのできる生活環境の整備
事業名	2－4－④	パークイノベーションの取り組みの推進
事業内容	魅力ある地域の公園を整備していくため、パークイノベーションの取り組みを推進します。	

事業費等	投入資源（千円）			H28	H29	H30	H31
	総事業費			574,211	439,524	453,304	0
	総事業費内訳	事業費		484,412	339,824	453,304	
		人件費		89,799	99,700	0	0
		常勤	平均給与	8,641	8,781		
			人数	9.49	10.97		
			計	82,003	96,328	0	0
		非常勤	平均給与	3,576	3,588		
			人数	2.18	.94		
			計	7,796	3,373	0	0
	財源内訳	国庫支出金			5,500		
		都支出金			7,167		
		その他〔　　〕					
		一般財源		574,211	426,857		

■指標

指標名	指標の定義	基準値	実績値				目標値	進捗度
		H27	H28	H29	H30	H31	H31	
よく行く、または行きたい公園がある区民の割合	世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民（２０～４０歳代）の割合（そう思う、どちらかといえばそう思うの合計） (算出式) A/B A：世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(20～40歳代)の数 B：世論調査に回答した区民(20～40歳代)の数	43.3%	47.4% 【目標値】45.0%	50.7% 【目標値】46.7%			50%	5

【進捗度】H27実績を基準値としたH31の目標値に対する各年度の進捗度(便宜的に各年度の目標値を平均して算出。その算出値に対する進捗度)
５：80%以上、４：60～80%未満、３：40～60%未満、２：20～40%未満、１：20%未満

■事業の分析

活動実績に対する分析 (施策に対する有効性の評価)	７公園の改修、２公園の新設のほか、トイレの洋式化や公園灯のＬＥＤ化を進めた。改修や新設を行う際には、ユニバーサルデザインや遊具の安全基準、防犯設計の遵守に加え、誰もがご近所でお気に入りの公園を見つけられるよう、特色ある公園をバランス良く地域に配置し、子育て世代が安心して楽しく遊べる公園づくりを進めている。
事業の進捗状況 (現状分析)	パークイノベーションの考え方に基づき改修した公園は累計２１園となり、モデル地域における取組みが完了に近づきつつある。今後は、全区展開していくために策定した「足立区パークイノベーション推進計画」に沿って、取組みを拡大していく。ソフト面では、特色ある遊具の紹介マップなど（目的別マップ）の作成、公園遊具総選挙のような公園利用のきっかけとなる企画を継続実施していく。

以下、子ども政策課記入欄

総合評価	★★★★☆	公園には遊びや憩う場だけでなく、防災対策としての側面もある。予算や時間の制約もある中、利用者や地元住民との意見交換、調整等に尽力していただき、これからも愛される公園を作り、守っていただきたい。

桃

〔平成３０年度：学校選択（小）〕

◆第2回（10月）学校公開日一覧（区立小学校）◆

下表のとおり学校公開を行います。授業風景や校風などを実際にご覧いただき、学校を選ぶ際の参考にしてください。

なお、学校の事情により公開日や説明会の日時などが異なりますのでご注意ください。（詳細は各校へ直接お問い合わせください）

公開時間：［月～金］午前9時30分～午前11時30分／午後1時30分～午後3時30分　　＊土日：一部公開する学校があります。

	通常学級			特別支援学級（固定級・通級設置校）			連絡先
	学校名	公開日	入学者向け説明会	障がい種別	公開日	説明会（固定級のみ）	
ア	青井小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	11（木）11:30 ～ 12:00	知的	9日午前、10日午前、11日、12日午前、13日午前	学校へご相談ください	3880-2255
	足立小	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）9:35 ～ 10:15	知的・弱視	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）11:30～12:10	3887-8891
	足立入谷小	15日、16日、17日午前、18日、19日	19（金）15:00 ～ 15:45				3853-0421
	綾瀬小	13日午前、15日午前、16日午前、17日午前、18日午前	17（水）11:30 ～ 12:15				3605-7328
イ	伊興小	13日午前、15日、17日午前、18日、19日	18（木）11:30 ～ 12:00				3899-1134
ウ	梅島小	15日、16日、17日午前、18日、19日	15（月）15:00 ～ 16:00				3889-9501
	梅島第一小	16日、17日午前、18日、19日、20日午前	19（金）10:50 ～ 11:30				3889-0334
	梅島第二小	15日、16日、17日午前、18日、19日	19（金）10:30 ～ 11:00	知的	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）10:45～11:15	3889-1401
オ	桜花小	13日午前、15日、16日、17日午前、18日	17（水）9:35 ～ 10:15	知的	13日午前、15日、16日、17日午前、18日	学校へご相談ください	3885-4911
	扇小	9～12日、13日午前	10（水）10:45 ～ 11:30				3898-2156
	大谷田小	13日午前、15日、16日、17日午前、18日	18（木）10:30 ～ 11:00				3605-6344
	興本小	2日、3日午前、4日、5日	3（水）15:00 ～ 15:45				3890-7104
カ	加平小	9～12日、13日午前	13（土）10:15 ～ 11:00				3884-0716
	亀田小	17日午前、18日、19日、20日午前、22日、23日	23（火）11:00 ～ 11:30				3889-2621
キ	北三谷小	9～12日、13日午前	11（木）9:50 ～ 10:20				3605-6481
	北鹿浜小	15日、16日、17日午前、18日、19日	19（金）15:00 ～ 15:45				3853-3151
ク	栗島小	19日、20日午前、23日、24日午前、25日	24（水）10:40 ～ 11:25				3887-6491
	栗原小	16日、17日午前、18日、19日、20日午前	19（金）10:40 ～ 11:25				3887-6391
	栗原北小	13日午前、15日、16日、17日午前、18日	18（木）10:25 ～ 11:25				3853-1216
コ	弘道小	9～12日、13日午前	12（金）11:00 ～ 11:30				3887-6691
	弘道第一小	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）10:00 ～ 10:30				3889-4437
	江北小	15日、16日、17日午前、18日、19日	9（火）15:00 ～ 15:30				3899-1144
	高野小	22日、23日、24日午前、25日、26日	24（水）14:30 ～ 15:30	知的	22日、23日、24日午前、25日、26日	学校へご相談ください	3890-4401
	古千谷小	9～12日、13日午前	9（火）15:30 ～ 16:00	知的	9～12日、13日午前	9（火）14:40～15:10	3855-3161
サ	皿沼小	15日、16日、17日午前、18日午前、19日午前	19（金）10:45 ～ 11:30				3857-4651
シ	鹿浜五色桜小	12日、13日午前、15日、16日、17日午前	17（水）10:00 ～ 11:00				3898-1321
	鹿浜第一小	15日、16日、17日午前、18日午前、19日午前	17（水）9:40 ～ 10:10	知的	15日、16日、17日午前、18日午前、19日午前	17（水）10:35～11:05	3899-3456
	鹿浜西小	15～17日、18日午前、19日	17（水）10:30 ～ 11:00				3897-1181
	島根小	13日（雨天順延）、16日、17日午前、19日	19（金）11:00 ～ 11:30				3884-0121
	新田小	12日、13日午前、15～17日	16（火）15:00 ～ 15:45	知的	12日、13日午前、15～17日	16（火）15:50～16:30	3912-9436
セ	関原小	9～12日、13日午前	9（火）15:00 ～ 16:00	知的	9日午前、10日午前、11日午前、12日午前、13日午前	学校へご相談ください	3889-7216
	千寿小	9～12日、13日午前	11（木）11:00 ～ 11:40				3888-5456
	千寿桜小	15日、16日、17日午前、18日午前、19日、20日午前	19（金）10:30 ～ 11:15	知的	19日午前	19（金）11:25～12:10	3888-5356
	千寿常東小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	12（金）10:30 ～ 11:15	知的	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	12（金）11:30～12:15	3888-5466
	千寿第八小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	10（水）9:45 ～ 10:15				3888-7826
	千寿双葉小	9～12日、13日午前	11（木）10:00 ～ 11:00				3888-6326
	千寿本町小	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）15:00 ～ 16:00	難聴・言語	直接学校へお問い合わせください		3888-8361
タ	竹の塚小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	11（木）11:10 ～ 11:40				3884-5334
	辰沼小	16日、17日午前、18日、19日、20日午前	18（木）10:40 ～ 11:25				3629-2421
テ	寺地小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	13（土）10:15 ～ 11:15				3890-7204
ト	舎人小	9～12日、13日午前	11（木）15:00 ～ 15:30				3899-1146
	舎人第一小	10日午前、11日、12日、13日午前、15日、16日	13（土）9:30 ～ 10:00				3897-9917
ナ	中川小	15日、16日、17日午前、18日、19日	19（金）10:40 ～ 11:20				3605-7777
	中川北小	13日午前、15～17日、18日午前	13（土）9:50 ～ 10:20				3620-3831
	中川東小	17日午前、18日、19日、22日、23日	18（木）13:30 ～ 14:00	難聴・言語	直接学校へお問い合わせください		3629-4511
	中島根小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	13（土）11:10 ～ 11:40				3850-4071
	長門小	13日午前、15日、16日、17日午前、18日	18（木）11:30 ～ 12:15				3602-8887
ニ	西新井小	15日、16日、17日午前、18日、19日	17（水）11:00 ～ 11:30				3890-5591
	西新井第一小	15日、16日、17日午前、18日、19日	15（月）10:00 ～ 11:00				3890-4504
	西新井第二小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	12（金）10:30 ～ 11:30				3899-2151
	西伊興小	15日、16日、17日午前、18日、19日、20日午前	16（火）15:00 ～ 15:45	知的	15日、16日、17日午前、18日、19日、20日午前	16（火）15:15～15:45	3897-8251
	西保木間小	13日午前、15日、16日、17日午前、18日、19日	17（水）10:35 ～ 11:20				3884-3295
ハ	花畑小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	11（木）15:15 ～ 15:45	知的	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	学校へご相談ください	3883-6791
	花畑第一小	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）10:00 ～ 11:00				3884-0726
	花畑西小	16日、17日、18日午前、19日午前、20日午前	20（土）10:30 ～ 11:15				3883-1471
	花保小	9～12日、13日午前	13（土）10:30 ～ 11:30				3885-7335
ヒ	東綾瀬小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	11（木）10:40 ～ 11:25				3620-7141
	東伊興小	9～12日、13日午前	12（金）10:40 ～ 11:20				3897-5341
	東加平小	13日午前、15日、16日、17日午前、18日	18（木）11:40 ～ 12:10				3606-1511
	東栗原小	9日、10日午前、11日、12日、13日午前	13（土）10:40 ～ 11:10				3883-4215
	東渕江小	11日、12日午前、13日午前、15日午前、16日	15（月）10:45 ～ 11:15	知的	11日、12日午前、13日午前、15日午前、16日	学校へご相談ください	3605-2013
	平野小	11日、12日、13日午前、15日、16日	11（木）10:40 ～ 11:25	知的	11日、12日、13日午前、15日、16日	11（木）10:40～11:25	3859-4481
フ	渕江小	13日午前、15～18日	18（木）10:40 ～ 11:25	知的	13日午前、15～18日	16（火）10:40～11:25	3884-1416
	渕江第一小	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）11:30 ～ 12:20				3884-4611
ホ	保木間小	13日午前、15日、16日、17日午前、18日	13（土）10:00 ～ 10:20				3884-0416
ミ	宮城小	9～12日、13日午前	13（土）10:30 ～ 11:00	知的	9～12日、13日午前	13（土）11:15～11:45	3913-5338
ム	六木小	11日、12日、15日、16日、17日午前	12（金）11:30 ～ 12:00	知的	11日、12日、15日、16日、17日午前	12（金）10:20～10:50	3629-4421
モ	本木小	15日、16日、17日午前、18日、19日	18（木）15:30 ～ 16:20	知的	15日、16日、17日午前、18日、19日	16（火）15:30～16:00	3890-7201
ヤ	弥生小	9～12日、13日午前	12（金）15:00 ～ 16:00	難聴・言語	直接学校へお問い合わせください		3889-3516

【小学校のみ】平成30年4月入学者から、選択可能校は［学区域校もしくは隣接校まで］に変更されました。見学の際はご注意ください。

＊見学の際、手話による通訳を希望される場合は各学校へご相談ください。

クリーム

〔平成３０年度：学校選択（中）〕

◆第２回（１０月）学校公開日一覧　（区立中学校）◆

下表のとおり学校公開を行います。授業風景や校風などを実際にご覧いただき、学校を選ぶ際の参考にしてください。
なお、学校の事情により公開日や説明会の日時などが異なりますので、ご注意ください**（詳細は各校へ直接お問い合わせください）。**

公開時間：［月～土］午前9時30分～午前11時30分／午後1時30分～午後5時

通常学級				特別支援学級（固定級・通級設置校）			連絡先
学校名		公開日	入学者向け説明会	障がい種別	公開日	入学者向け説明会（固定級のみ）	
	第一中	９日、１０日午前、１１日、１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 11:50	知的	９日、１０日午前、１１日午前、１２日、１３日午前	11（木）11：00～12：00	3888-5426
	第四中	９～１２日、１３日午前	13（土）　10:45 ～ 11:45				3887-6891
	第五中	９～１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 12:00				3898-7391
	第六中	９～１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 12:00	知的	９～１２日、１３日午前	学校へご相談ください	3898-7491
	第七中	９～１２日、１３日午前	13（土）　12:00 ～ 12:50	知的	９～１２日、１３日午前	13（土）10:40～11：30	3887-7691
	第九中	９～１２日、１３日午前	11（木）　15:00 ～ 16:00				3887-7791
	第十中	９～１２日、１３日午前	11（木）　15:00 ～ 15:45	情緒	直接学校へお問い合わせください		3887-7891
	第十一中	９日、１０日午前、１１日、１２日、１３日午前	11（木）　15:00 ～ 16:00				3887-8191
	第十二中	１５日、１６日、１７日午前、１８日、１９日、２０日午前	20（土）　11:00 ～ 12:00				3605-2734
	第十三中	９日、１０日、１１日午前、１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 11:40	知的	９日、１０日、１１日午前、１２日、１３日午前	13（土）10：45～11：30	3605-4711
	第十四中	９～１２日、１３日午前	11（木）　14:00 ～ 15:00				3899-1191
ア	青井中	９～１１日、１２日午前、１３日午前	11（木）　16:00 ～ 16:40				3880-2231
イ	伊興中	１５日、１６日、１７日午前、１９日、２０日午前	20（土）　10:45 ～ 11:35	知的	１５日、１６日、１７日午前、１９日、２０日午前	20（土）10：45～11：35	3855-2361
	入谷中	９日、１０日午前、１１日、１２日、１３日午前	13（土）　10:00 ～ 10:45				3855-3196
	入谷南中	９～１１日、１２日午前、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 11:45				3897-9919
オ	扇中	２日、３日午前、４日、５日	3（水）　16:00 ～ 16:45				3856-1421
カ	加賀中	９日、１０日午前、１１～１３日	13（土）　11:30 ～ 12:00				3857-1121
	蒲原中	９日、１０日、１１日午前、１２日、１３日午前	12（金）　14:45 ～ 15:45				3605-8335
ク	栗島中	１５日、１６日、１７日午前、１８日、１９日	18（木）　14:30 ～ 15:30	知的	１５日、１６日、１７日午前、１８日、１９日	18（木）15：00～15：30	3852-1011
コ	江南中	９～１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 12:00				3911-6413
	江北桜中	９～１２日	11（木）　15:00 ～ 16:00				3854-1191
シ	鹿浜菜の花中	９～１２日、１３日午前	13（土）　10:45 ～ 11:45	知的	９～１２日、１３日午前	13（土）10：00～10：30	3899-1504
	新田中	１２日、１３日午前、１５～１７日	16（火）　15:00 ～ 15:45	知的	１２日、１３日午前、１５～１７日	16（火）16：00～16：30	3913-6665
セ	千寿青葉中	１５日、１６日、１７日午前、１８日午前、１９日	13（土）　9:50 ～ 10:40				3888-7456
	千寿桜堤中	９～１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 11:40				3888-5081
タ	竹の塚中	９～１２日、１３日午前	13（土）　10:35 ～ 11:25				3883-1251
ニ	西新井中	９～１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 12:00				3890-8167
ハ	花畑中	９～１２日、１３日午前	13（土）　10:30 ～ 11:45	知的	９～１２日、１３日午前	13（土）10：30～11：45	3884-0731
	花畑北中	９日、１０日午前、１１日、１２日、１３日午前	11（木）　16:00 ～ 17:00				3859-5031
	花保中	９～１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 11:40	情緒	直接学校へお問い合わせください		3859-8011
ヒ	東綾瀬中	１３日午前、１５日、１６日、１７日午前、１８日、１９日	19（金）　16:00 ～ 17:00	知的	１３日午前、１５日、１６日、１７日午前、１８日、１９日	19（金）15：30～16：00	3605-6565
	東島根中	９日、１０日午前、１１日、１２日、１３日午前	13（土）　10:50 ～ 11:35				3884-1331
フ	渕江中	９～１２日、１３日午前	13（土）　11:00 ～ 12:00				3885-0039
ヤ	谷中中	９日、１０日午前、１１日、１２日、１３日午前	13（土）　10:30 ～ 11:30				3620-6662
ロ	六月中	１５日、１６日、１７日午前、１８日、１９日	19（金）　16:30 ～ 17:30				3859-1072

＊見学の際、手話による通訳を希望される場合は各学校へご相談ください。